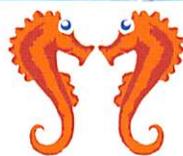


SDC



エスディーシー

Dive Freak Magazine

<http://sdcj.cside5.com/>

2008年4月

No. 37

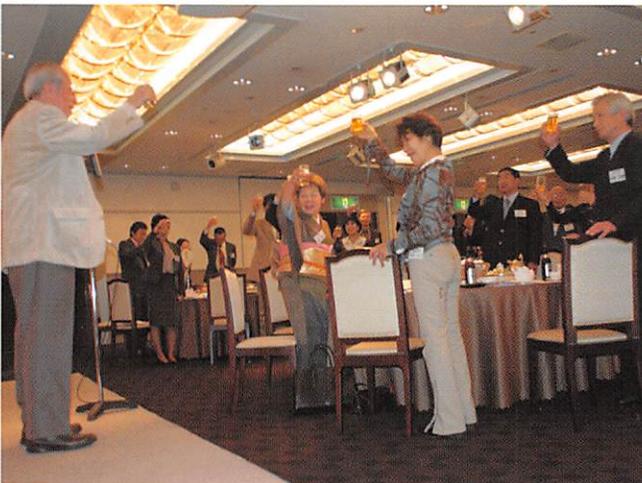
特別付録

Diving-Point Map



Topics 新年会

1月20日(日) アジュール竹芝
「竹芝の海の前で記念写真」



乾杯!で新年会の始まり



パートII ツアー相談コーナーにて

表紙に寄せて 270 河原 信子

佐渡の弁慶「コブダイ」は約1m、体重15kg位、ベラ科です。私はテレビで観てすぐ出掛けました。9月、水温17℃、流れの強いポイントでした。

自分の体を流れより守る事でカメラどころでない程の日でしたが、私はフィッシュアイ12mmで体当たり寸前迄近づきました。みればかなり怖い顔ですが、私はわざわざ名古屋より恋人にでも逢う感で行ったので、出会えた時は嬉しかったです。ビュンビュンカメラは揺れましたが、懸命に撮りまくりました。ライトを遠くへ向け、シャッタースピードを上げたり、フィルム感度を変えたり、いろいろ試してみました。皆さんもぜひ巨大弁慶さんに会いに行ってみてください。

『この写真と同じ時に撮ったコブダイの1枚が、今年の富士フォトコンテストで入賞したそうです。おめでとうございます。』



新年会報告

1月20日(日)

アジュール竹芝



新年会の報告

542 総務担当 瀧 正明

1月20日は、全国から多くの方に、お集まりいただき、ありがとうございました。

初めての会場でしたが、海が見えるというロケーションでもあり、皆さま開放的な雰囲気を楽しんでいらっしゃる感じられましたが、いかがでしたでしょうか…

写真撮影も、海の香りがする外でという運びになり、皆さまの笑顔も、より一層輝いて見えました。

パートⅠ、パートⅡを通じて、各テーブル間での交流～(お世話係の方、お陰様で各テーブルから楽しかったという声が数多く寄せられ、まことに、ありがとうございました。)立席となつてからの交流～と新しい仲間作りが進んだようで、何よりのことと思っております。

あっという間の4時間でしたが、限られた時間を有効に使うためにも、ご意見、ご要望等、お聞かせいただけたらと思います。(返信ハガキの通信欄を多に利用して下さい)

個人的には3回目の新年会でしかないのですが、それでも回を重ねるごとに、全体的にスキルアップ(?)されているように思いました。

新年会に限らず、これからも益々楽しい集いが出来ます様に、努めてまいりますので、ご協力、よろしくお願ひいたします。

最後にひとつ、お願ひがあります。今回も出欠の返信未着が、数十通ありました。

お忘れ(?)になられた方は、もちろん許容範囲なのですが、欠ということで返信されない方～会に所属している以上、欠でも返信するという、マナーを是非、お守り下さい。

次回は、場所が変わって、恵比寿イーストギャラリー、6月1日(日)、総会・懇親会になります。多くの、皆さまにお会いできるのを楽しみにお待ちしております。

新年会でお願いしたことなど

005 会長 大隅 楠夫

今年も盛大な新年会を開催できたこと、大変嬉しく思っています。これも安全優先のダイビングを行い、そしてアフターダイブを楽しむというクラブの伝統が守られているからであり、心強く感じています。日本シニアダイバーズクラブは今年で創立14年となります。現在の会員数は342名、女性会員が若干多い比率となっています。

14年の間に、当初のクラブの目標であったバディ探し、仲間探しが進み、仲良しグループによる個人グループツアーが盛んに行われていることは、大変喜ばしい事です。

半面、情報のアングラ化が起きている事を危惧しています。ベテラン会員は多くのダイビングポイントの情報を持っているはずですが、その情報が仲間内のものとなつていて、多くの会員が活用できる状態ではありません。全国に広がる会員のネットワークが生かされていないのです。

会員情報を出来るだけ共有したいと考え、会報35号、36号で個人グループツアーの情報提供をお願いしました。これら眠っている情報の所在が分かれば、新しい海に関して調べたいときに、インターネットや雑誌の情報に加え、会員情報からシニア向けかどうかなどの情報が得られるようになります。是非個人グループツアー情報の提供をお願いします。また会員はそれらの情報を積極的に活用していただきたいと思ひます。

このSDCならではの情報の交流が広がれば、SDCの活動を更に高める事が出来ると考えています。上記のお願ひを新年会で行つた結果、早速個人グループ情報がいくつか寄せられて、本号の内容が充実してきました。継続は力なりと言ひます。これからも引き続き情報提供をお願いします。

SDCの情報交流は会報の他に年に2回の懇親会、各種同好会、ホームページで行われています。まだSDCの活動になじみの少ない会員は、是非どこかにアクセスして下さい。そこに新しい人との出会いがあります、新しい楽しみが始まります。新しい世界は自分で動く事により開きます。

SDC 新年会に参加して...の感想

浜松市在住 629 内山 敬

三年ほど前に、ある先輩より、当会の存在を知り入会させていただき、今回初参加させていただきました。先ずもって、今回の企画、運営に際し、役員皆様の大変なご努力に敬意を表したく思います。又、会員皆様の寒中にも拘わらず、遠方からも大勢の方々の参加に対しても合わせて敬意を表します。

参加された皆様のお気持ちは、それぞれの思いがあってのことでしょうが、多くの方がこれからのダイビングを、より有意義で楽しいものにしたいと願っての参加とご推察いたします。勿論私もその例にもれず、今後のダイビングに役だつものを吸収したいとの思いで臨みました。

その意味では、会運営のパートIIで充分にご配慮していただき、満足できるものでした。全部を網羅するには、時間的なものもあり、ちょっぴり残念ではありました。

こんな機会が常に持てたらと、素晴らしいことだなと思いました。我がまま勝手に、充分承知の上で希望すれば、常時(時間の制約はつけてもかまわぬ)パートII同様に担当を作っていただければ、メール、FAX、TEL等より良い情報をいただき、より良いダイビングが出来ることと思います。

又、関東、関西などエリアごとに会、交流があるようですが、願わくば、地理的なことで県単位くらいのエリアであってくれればとも思います。

小生は65歳から始めた文字通りのシニアダイバーです。ゴルフでロタ島へ行き現地の人に、この綺麗な海の島に来て、なぜ海を見ないか!と諭され、海を覗いたのがきっかけでダイバーを志しました。以来7年思いもよらぬ綺麗な別世界を知り、楽しい日々を過ごす事ができております。

これからも健康と相談しながら、少しずつでも勉強し、良きダイバーでありたいと願っております。

「初めての新年会に参加して」

630 齋藤 昭子

近頃、だんだん体力の衰えを感じるようになってきたのですが、あの、海の中の楽しい時間を簡単には、諦めたくありません。SDCには、私のような

人が大勢いて、いろいろなノウハウがあるかもしれないと思って、入会しました。しかし、今回初めて新年会に参加してみて、いやそのパワーのすごいこと。圧倒されっぱなしでした。

ロビーに飾ってある、海や鯨の写真や、魚の写真集、マンボウのタオルなど、すばらしい作品がいっぱいです。シニア用のご馳走などといいながら、お皿は次々空になるし、お酒もどンドン納まってゆきました。隣席の秋田のウワバミ氏に「フランス語圏でのチップの渡し方」など伝授してもらったり、世話役さんからは「私もあなたも、ジムでもう少し痩せましょう。」と励まされました。名人に「一眼レフデジカメ、やってみたいのです。」と、そーっと、アドバイスを請いましたら、「重いよ。覚悟はできてる?」と、さらっと言われて、「か、か、かくご、できてない。」と、ビビりました。エネルギーが余っている人ばかりが、記念写真に入りきれないくらい日本中から集まってきたらー! へー!

おわり

大当たりの新年会

146 佐竹 綾子

今年の会場は幹事さん達のご尽力で海の見える所と言う事で、ダイバー憧れの小笠原丸が出航する桟橋のすぐ横にある「アジュール竹芝」でした。

会長の挨拶、乾杯、各テーブルで歓談、山海の珍味お酒も入って賑やかに…急にイベントが始まりました。これから「反射神経」のゲームをします。一、二、三で手を上げて下さい…との事だったのに、実際に聞こえたのは一、二、四えっ!? みんな手を上げていました。下ろした瞬間「三」の声…思わず「ハイ」って私。一番遠くに居た私の方へ、「コスモテクノ」の小山さんが「アジュール竹芝のお食事券」を「おめでとう」って! 嬉しい〜灯台は遠くを照らすものなのですね。

次は「通山多恵子」さんの写真集と写真を2名に。関川名誉会長と全員でジャンケン「最初はグー」で勝ち、最後までグーで勝ってしまいました。

早速リロアンの多恵子さんにお知らせしましたら、知っている方で良かったって…お返事に感激。

去年はトラぶってしまい病院で検査を何度も受診。結果異常なしと言う事でほっとしていた矢先…

新年早々こんな素敵なお年玉を頂いてきっと良い事がいっぱい訪れてくれることでしょう。

有難うございました。宜しく願い致します。

新年会に参加して

374 藤本 広子

いつも思うことですが、SDCの会員の参加者がすこぶる多いのには驚かされます。

この先もきっと今以上に増してゆくことでしょうね。ますますダイビングギアも高性能になり、安全性をましてスーツはより温かく着心地良くスキューバダイビングを楽しめる様になると思います。私がダイビングを始めたころはまだドライスーツがなくて、雪のちらつく中を魚舟のイクスにお湯を張って海に向かいました。エキジットすると同時にイクスの中にドブ、上陸するとき火がパチパチはね、その上にはすっかり灰をかぶってしまったアツアツのトン汁ができていました。トン汁をすすりながら船頭さんや焚き火に集まってきたほかの小舟の船頭さん近くのおばちゃんたちと楽しく暖を取ったりしました。船頭さんたちは豊富な知識を持っています。すべて体験から生まれた知識です。ここで海の怖さも、楽しさも学びました。幸い腕の良いインストラクターに恵まれ究極のダイビングも試みてみました。ある時は館石先生やマリンダイビングの鷺尾さんたちと水中写真の勉強に参加したりしました。ダイブコンピューターを持つようになってからは海を通して世界中の人々と会話したくなりました。積極的に出かけていっています。(どこへ出かけて何をしてきたかは、またの機会に書いてみたいと思います)海を通してもっともっと世界の人の役に立つことをしたいと願ってやみません。皆さまもどうぞ最新のギアで安全ダイビングを試みながら旅の先々で写真も良いけど会話をしてみてください。ダイビングが2倍にも3倍にもなって思い出として心に残りますよ。

「SDCのサンゴの根」を造りませんか？

648 江藤 征雄

1月20日、SDCの新年会に初参加しました。場所は幹事の方々のご配慮で、海が見えるホテル「アジュール竹芝」でした。

竹芝は、ダイビングを始めた40年ぐらい前、

夏になると器材を入れた重いバックを肩に担ぎ、浜松町駅から歩いて桟橋に向かい、大島や八丈島に何度も



出かけた思い出深い場所で、感慨ひとしおでした。第一部の会食では自己紹介をしながらの会話が弾み、第二部ではダイビングツアー計画ご担当の児島様にいろいろアドバイスを戴いた事や、テーマ毎のテーブルでの情報交換などを通じ、名簿のお名前とご本人とが結び付き、知り合いが増えたことは、出席したからこそ思っております。

現在は通信手段が発達し、いろいろなコミュニケーションの方法がありますが、やはり直接会ってお話することが、お互いの理解を深める上で一番だと、改めて感じた一日でした。また、昨年の総会に初参加した時もそうですが、参加者の皆さんの年齢を感じさせないパワーは今回も健在で、若さをいただいた感じがします。

それから、昨年、沖縄のサンゴ再生プロジェクトへの参加ツアーの計画をしようとしたのですが、募集のタイムリミットを過ぎていることが分かり、SDCの公式ツアーは断念し、少人数(3名)の個人ツアーで参加しました(写真はその時のものです)。



しかし、沖縄のサンゴの状態は惨憺たるものであるため、今年は出来るだけ多くの方にご参加いただきたく思い、ツアー計画をこの号で出させていただくことにしました。

会員の皆様のお力をお借りすれば、沖縄の海に「SDCのサンゴの根を造る」ことも夢ではないと思っています。



1月はパラオスポーツに行きます。
025 秋山 眞美子

当日はフィリピン・プエルトガレラの海にいる予定です。 040 山崎 賢二

ダイビングもアウトドアの会もすっかりご無沙汰してしまいました。6月の懇親会には出席したいと思っています。 047 竹腰 憲江

2007年は孫(16歳)と2回のダイビング、自分の最初のタンクとの出会いは25歳、色々考えさせられる1年でした。
055 鶴若 富夫

ご無沙汰しておりますがダイビングはボチボチ頑張っております。 132 岡野 博

スイス・スキーの旅の準備の為参加できず残念です。136 高島 良子

最近フィリピンにはまってフィリピン通いです。仕事をリタイアしたらこういう会に参加させて頂きたくので宜しくお願いします。 140 上田 孝志

仕事のため欠席します。年末はボホールに行ってきます。 199 竹内 きみ枝

Photo BBSを毎日見ていると参加しなくても仲間に入っている様な錯覚になります。
207 大石 詔子

昨年は中部の会員と関東からの四季桜ツアーの会員とで交流会が出来ました。参加下さった皆さん、遠路はるばるありがとうございました。 240 山本 伸子

身内の行事の為欠席いたします。残念です。温暖化の昨今でもやっぱり津軽には冬そして雪の季節がきました。インフルエンザのワクチンをバッチシ注射、春の来るのを待ちます。
245 今村 孝

1月末より2週間ガラパゴスに出かけます。今回も残念ながら失礼します。7月のマブルエコツアー参加者募集中です。
247 長野 恭子

春は恒例のセブからジンベイに会いにレイテへ行ってきます。 252 上田 満彦

2008年も仕事の調整をしながらボラカイ、トゥバタハ、牟岐、マタキング島と予定しています。又どこかの海で皆様とお目にかかることを楽しみに… 306 宮本 節子

1月16日～30日モルジブ帆船クルーズへ出かけています。
334 塩原 和夫

当日は東京都スキー連盟の行事と重なり出席できません。
343 内山 数子

11月バリ島ヌサペニダ・マンボウポイントに行ってきた。水温20.9℃、低いとは聞いていたがもうびっくり！あわてて5mmウエットをレンタルして潜りました。自分の認識の甘さにいやになってしまいました。海はまことにまか不思議と再認識したツアーでした。
354 横井 康江

変わりなく年間数回のダイビングを楽しんでおります。
358 渡辺 靖明、359 渡辺 光栄子

主人の両親を3月、11月で送り、今やっと49日が終わろうとしている所です。孫(小4・小2)もダイビングを始め、奄美、徳之島に行き一緒に潜っています。皆様と一緒に出来る事があるようにと頑張っています。
384 田中 勇、385 田中 文江

約2年間のブランクがありましたが、昨年は八丈島、大島と近場を潜りました。やっぱり海の中はいいですね。 426 寺島 和子

昨年11月NYジャズに参加させて頂き楽しい時間を頂きました。ダイビングは6月に石垣へ一度だけでした。本年6月の紅海にエントリーしています。
427 木村 満男

2008年新年会・欠席者の声

3週間(11月)ボホールのGOOD DIVE SHOP
で潜りに潜り三昧でした。
430 関本 まさ子

念願のガラパゴスに出掛ける前です
ので失礼します。 434 百瀬 由美子

すみません、スキー日程と重なって
しまいましたので…。 437 都築 明子

あっという間の1年間でした。毎年
ダイビング計画を練るのが楽しみです。
陸(ソフトボール)と海の両方で楽しんで
います。 442 高岩 辰司

10月に初の写真集を作りました。気が
付けばダイビング歴40年。「継続は力なり」
を実感しています。まだまだ現役です…。
468 通山 多恵子

2007年はジンベイイヤーでした。
8月のモルディブは感動!海に
また恋してしまいました。
473 山田 奈々、474 山田 智恵美

立山にも初雪が降り寒さも一段と
厳しくなってきました。
485 橋本 良子

年始始めはボラカイから
スタートです。
493 近藤 秀子

1月20日にモルディブクルージングから
帰ります。とっても素敵そうな会場で
残念ですが欠席させていただきます。
499 鈴木 暁美

10月に御蔵島のイルカウォッチングに行きました。
スキンドайビングで若い人に混じって泳ぎました
ので体力的に大変でしたが、イルカが沢山
見れて感激しました。 502 井上 次郎

年末年始に1,000本、1,001本を迎えられる
予定です。2008年はたくさん潜りに
ゆっける予定! SDCのツアーにも
行けるといいなア…。 504 伊藤 久海子

1月11日~16日までボラカイ島ツアー
に行きます。 518 中島 三沙子

今年は7回潜りに行きました。次回は12月初、
1月末、2月中に知人と計画中です。SDC
ツアーに参加できないで申し訳ござい
ません。 548 佐藤 次吉

1月ボラカイ、4月トゥバタハに申し
込んでいます。 550 久保 暁美

その日は山の予定が入っています。
2月初めにロタ島に行く予定です。
574 大島 勝代

年末はSDCの仲間とメキシコ・
コスメル島へ潜りに行きます。新年は
インドネシア・ラジャアンパットで
ダイビングクルーズの後フロリダへ行き
マナティーと遊びます。ケネディ宇宙
センター見学も楽しみです。
579 湯下 晃

石垣島に行く予定にして
おり失礼させていただきます。
606 林 正和、
607 林 彰子

1月25日からパラオのスキルアップに
参加します。今年も楽しみながら
自立ダイバーを目指します。
610 白松 礼子

4月にはじめてSDCのダイビングツアー
(リロアン)に参加する予定です。
613 近藤 敬比古

11月30日~SDCツアーでフィリピンに行き
ます。1月20日は沖縄旅行に行きますので
欠席させていただきます。 642 船戸 ミチ子

6月にボホールでSDCデビューしま
した。早速200本のお祝いをしていただき
嬉しかったです。先日の関西の懇親会では
名誉会長の隣の席になり驚きました。この
1年は初めてのことばかりです。
644 門井 久男、645 門井 和子

来年は三宅島のダイビングに参加したいと
思っています。 656 奈佐 牧男

5月12日から19日のフィジーツアーに参加
する予定です。 659 日野 靖雄

2008年新年会・欠席者の声

リロアン(マリンビレッジ)ツアー

(ツアーNO. 732 2007年11月30日～12月5日)

リーダー 618 河原 智怡



618 河原 智怡

セブ島は雨季の時期ですが、毎日お天気が良く気持ちの良いダイビングをすることが出来ました。

マヌリバ、イラク、ホワイトロック、カシリスリーフ、アポ島などの場所に潜り豪快な魚群、サンゴもとても美しくストレスなく潜れるスポットが多いと思いました。

殿様、お姫様ダイビングで器材のセッティングや片付けからエントリーのフォローまできめ細くケアしていただき、12名のダイバーにインストラクター6名と贅沢に見ていただき、安心して潜れました。

テングダイ、ツバメウオ、アデヤッコ、オオフエヤッコダイ、オイランヨウジ、サラサハタ、ウメイロモドキ、グルクマ、クマノミの数が多く、とても癒されます。



イソギンチャク



ミナミハコフグ

406 立木 博信

参加者は12名、成田から8名、関空から4名の計12名である。目的地リロアンは知る人ぞ知るマクロのメッカで、大隅会長もしばしばこのエリアを訪れており、3,000本以上潜った会員番号468の通山さんもリロアンにロッジを建てて住んでいる。

中4日間12本のダイビング。1日目は近場のイラク、ホワイトロック等を潜ったが最初に潜ったイラクの透明度がひどく悪い。私はこのエリアに十数回来ているがこれまでで最悪であった。理由は不明だが、1週間ほどこの状態が続いた後、元通りの海に戻ったようで、我々は不運であった。2日目はカシリスリーフ、ここはリゾートからバンカーボートで約1時間かかるが透明度も良く、初日の不満も多少解消したようである。3日目はアポ島への遠征である。約1時間半かかるので、私は近場で潜ってのんびりさせていただいた。

リロアンマリンビレッジの良さは近場の良さで、イラク・ホワイトロック・マヌリバなどは小さなボートで約3分！それでハナヒゲウツボ・ゴールドスペックジョーフィッシュ・ニチリンダテハゼ・クマドリカエルアンコウ・オオモンカエルアンコウなどのサカナ、オランウータンクラブ・ピンクスクワットロブスターを始めとするエビカニ類、多くのウミウシがいるのだから堪えられないのである。それにこのリゾートのレストランは海上に突出していてロケーションが素晴らしい。朝日を見ながら飲むコーヒー、アフターダイブで飲むビールは最高である。

さて、ダイビングは6名ずつの2組に分け、ガイドはフィリピン人のランディさんがトップを走り、バックに日本人のゆかさんともう1名ずつのフィリピン人イントラが付き、もう1組はBボーイさんがトップでもえちゃんともう1名のフィリピン人がフォローするという形である。2日目終了後、参加者の間から日本人をトップにしてボードにサカナの名前を書いて欲しいという要望が出た。ログ付け時に日本人イントラが教えてくれるのだが海の中でその場でのいうのも尤もな要求である。マリンビレッジの総支配人の玉本陽子さんにも頼んだが、安全確保のためという理由で受け入れられなかった。ただ、日本人イント

ラがボードにサカナの名前を書くということで折り合った。今回の参加者は1名を除いて全て100本を超す経験があり、50本の船戸さんも含めて一応、フリー潜降、中性浮力、ダイコンを使うことに問題はないようだった。確かにフィリピン人のランディさんはここで10年潜っており、リピーターに人気絶大のイントラである。Bボーイさんも7年ほど潜っていて、サカナを探すことはすごく上手い。しかし、ゆかちゃん、もえちゃんもここで3年以上潜っており、2人とも3,000本を超すベテランである。ゆかちゃんは6月に80本程度のA夫妻と一緒に潜ったとき、突然急な流れが発生したが2人を確保して危機を脱した素晴らしいスキルと体力を持った女性である。一見、細身に柔そうに見えるがリロアの急流に鍛えられているのである。今回の参加者だったらゆかちゃんともえちゃんだけで各々が6名ガイドしても問題ないと私は思ったが、安全確保に関してはイントラの意見に従うべきなので、一応納得した。しかし、最終日に分かったのであるが、1日目の近場でマリビレッジはバンカーボートを用意してくれた。従来3分程度の近場のイラクやホホワイトロックにはテンドーボートという小さなボートで行き、バックロールでエントリーしてエクジット時は腕とキックの力でボートに乗るのである。3日目の夜に私は明日はバンカーでなく普通のボートにしてくれるように申し入れた。早朝ダイブから始めて午前中にダイビングを終了し、午後はドウマゲッティにショッピングに行くため時間を節約したかったのである。スタッフがボートに上がれますかねというので、バカにするなという気持ちで大丈夫と答えたのだが、現実には半数がサポートなしではボートに乗れないのである。サポートどころか引っ張り上げてもらわなくてはならない人もいて愕然とした。これまでここでボートに上がれない人はほとんど見たことがないのである。若い人なら腕力だけで、腕力のない人ならキックをしてその勢いでボートに上がるのだ。余程、キック力のない人だけが引きずり上げてもらうのである。スタッフは我々のキック力を見抜いて初日にバンカーボートを用意したのだった。

ここリロアは「渦巻くところ」という意味だそうである。突然、流れてくることもあるし、流れが変わることもある。そういうときにキック力のないダイバーは流されてしまう。ここのスタッフはリロアを熟知していて、流れない時間や場所を選んでくれるのだが、相手は自然である。年に1度くらいは予想を超える流れに会うことがある。そのときにキック力のない我々をサポートするために日本人スタッ

フをバックサポートに付けていたのである。

SDCではフリー潜降と中性浮力、ダイコンによる自己管理が出来れば自立したダイバーとしており、私もそのように理解していたが、8月にモルジブでのサファリでキック力とか体力面もスキルに入れた評価をされた。参加したうちで10%程度はなんとかサファリに参加出来るスキルを備えているが、他の人はサファリには無理というイントラの判断があって驚いたものだ。特に女性はDMを持っている人も含めて全員ダメ、上手いと思っていることと上手いことは別と言われてしまってショックを受けたが、今回も同様である。

リロアに行くときは人数をSDCのツアーの規定通りに8名以下にするか、体力やキック力を考慮して参加すべきではないかと考える。

参加者

406 立木 博信	456 市嶋 健一	561 佐々木 肇
610 白松 礼子	618 河原 智怡	622 三吉 清忠
625 東田 澄江	627 小澤ユリ子	642 船戸ミチ子
644 門井 久男	645 門井 和子	



リロアンマリビレッジ

ボラカイツアー

(ツアーNO. 808 2008年1月11日～16日)

リーダー 480 菅沼 良次



こんなフィリピン初めて ボラカイツアー

493 近藤 秀子

キャンセル空きで飛び入り参加させていただいた海は想像だにできなかった場所でした。

ビーチから眺める額に入れた様な海の構図は何度となく見てきましたが180°海を背に振り返るとソコには何kmにもなる縦横無尽にオモチャ箱をひっくり返した様なローカルからリッチな店までビッチリ並んでいたのです。

旅の達人たち13名は思い思いにダイブする人、買い物に翻弄する人、アイランドホッピングに参加する人など行動範囲も自分で決め、ディナー集合時には14名一団となり食べ・飲み・語り・笑い・踊り、中身の濃〜い一日を終えるのです。

こんな非日常的な事を4日間過ごし、同日現地着、同日帰国の6日間の短いツアーは何とか無事？に終了しました。

ダイブツアーのはずが海中は地味で私は4本のみでアップ！海中生物よりも華やかな島内の方に興味を魅かれました。

ツアーに参加していつも感じる事はリーダーのご

配慮とサポートの方…それ無くしてツアーを無事終える事は不可能です、感謝しキレマセン。それにしても良く食べました。

B級グルメの私は毎晩並べられた料理も初めてのメニューが多く、こんなに沢山の品を食べたりしたことも在りませんでした、それも毎日です。イタ飯・スペイン料理・コリアダイニング等…ビールはランチから水代わりで飲み、至福のマッタリツアーでした。

それにしても不思議ですネ！何十年連れ添った夫婦でも別々のレールへ軌道修正せざるを得ない場合も有るのに、北から南から見知らぬ者同士が合流し旧知の様に打ち解け過ごせるのですから……

参加者(14名)

140	上田 孝志	181	平山 英子
306	宮本 節子	456	市嶋 健一
475	池田 宮子	480	菅沼 良次
493	近藤 秀子	508	安積 信
518	中島三沙子	535	小林 純子
550	久保 暁美	561	佐々木 肇
608	田中みどり	623	原田 大蔵



ボラカイツアーに寄せて

306 宮本 節子

成田・関西各空港からマニラまで、マニラで関東・関西組と合流、国内線に乗り換えてカリボ空港まで約1時間のフライト、カリボからは迎えの車でカティ克蘭の港まで約2時間のドライブ、カティ克蘭の港から船に乗り換えてやっとボラカイに辿り着く。ホテルに到着したのは日もとっぷり暮れた午後8時頃。

今回のホテルは「ボラカイリージェンシービーチリゾート」DSは「ホワイトブルー」。



ランチ小屋にて

到着後、長い道のりでお腹をすかした皆はレストランへGO。ショップの人にも来ていただき、明日からのダイビングのこと滞在中のことの打合せ。

ダイビングを今回はOPとして格安別料金で予約設定。ホテルはボラカイでも一番のホテル、快適で、立地がとても良く、どこに行くのも便利でした。

1日目、お天気は雨季と乾季の境目であまりぱっとせず、憧れの4kmにも及ぶビーチの美しさが映えませんが、トライシクルに乗ってショップまで、ゆっくりと2ダイブ。2日目、3日目、曇り晴れ、午前中に2ダイブor3ダイブ。後はのんびりと各自ショッピングや散策等を楽しむ。

4日目は、ボラカイ周辺をダイブするメンバーとマニンギン島へスピードボートで約1時間半かけて遠征するメンバーとに別れてダイブ。漸く待ちに待った晴れ、遠征した組は眩いほどのビーチに上陸してBBQランチ、3本目はやめてビールにしたかったな…と！大物狙いで入ったのですが、潮が流れてなくて大物にはお目にかかれず…。

海での盛り上がりはあまりなかったものの、陸ではビーチ沿いにいっぱい並ぶ店、散策、ショッピング等楽しみがいっぱい。そして、毎夜、各国籍の料理を存分に味わい、ノリノリの宴会！！2次会、3次会に繰り出し、飲んで、踊って、語り合い、夜が更けていきました。

ダイビングツアーでありながら、ダイビングをOP設定したことで、前日までにショップへ御願ひ・確認することにより、潜る、潜らない、をその日の天候・



上/韓国料理店にて 下/バーにて



体調等に合せ自由に選択できたこと、思い思いに好きな楽しみ方ができたことが良かったかなと…その反面、多人数になると色々な面での配慮が大変なものも事実です。

ご参加していただきました皆様、有難うございました。行き届かないこと、至らないことが多かったことと思いますが、今後ともよろしくお願ひいたします。



サンドキャッスル

「冬の伊豆」みてきました

(ツアーNO. 822 2008年1月23日～24日)

リーダー 026 良縁寺 悦子

レポート 528 平野 淑子



当日東京、横浜方面は雪がちらつく寒い日でした。初めて冬の伊豆をドライスーツで潜るには少々尻込みしたくなる日です。

現地に向かう車中、雪の海で潜った経験が無いのでそれも面白そうねとの話、さすがベテランは元気がいいですね。

私たちは熱海でぶちアイランドの金子氏にピックアップしてもらおう予定でしたが、雪のため峠を車では越せないとのことで、急遽沼津待ち合わせに変更となり目的地土肥に無事到着。

一日目午前中は「Skill up Studio THE101」の室内プールでドライスーツの講習を受けました。

プールは暖かく汗ばむ様。

水深5mのプールでドライスーツの空気を抜くのはかなり難しかった。

腕を上げその体勢になると浮上してしまいます。

今回の参加者の内ドライの講習を受けたものは2名、他の方々は伊豆の海、海外での海で大活躍の方でした。

午後からいよいよ一度覗いてみたかった冬限定「沖漁礁」に出発です。

ボートで約5分、さあエントリーです。

潜行ロープがあり楽に潜行できました。

海の中は思ったより寒くありません。

水温16℃、沖の漁礁は期待どおりとてもきれいです。まず体長80cm位の巨大なヒラメが5～6匹(肉厚でお刺身にしたら美味しそう、何人分ぐらい取れるかな?) スカシテンジクダイ、ネンブツダイ、クロホシイシ

モチ、等々の群れ、そしてソフトコーラルが美しい。大満足でしたが……エキジットしてボートに乗ると何と気温が1℃、吐く息は白くとにかく寒い。港に着くまで凍り付いていました。

今夜の宿は「土肥館」温泉で体を温めホッ。



翌日は風が強く宿の窓から見える海も白波を立てています。フェリーも欠航、ボートも出ないとの事で大瀬崎に移動、大瀬崎の湾内は静かでした。午前、午後と2本潜りましたが水深が浅くなると不安定になり金子さんに足を押さえてもらうシーンが度々ありましたが今回のツアーは無事終了しました。

何時も暖かい南国の海ばかり潜っていた私でしたが昨年あたりから八丈島、大島伊豆と日本の海の良さを見直しています。一度冬の伊豆をドライスーツで潜ってみたいと思っていた私にピッタリの「冬の伊豆見てください」ドライスーツ講習付のツアーでした。リーダーの良縁寺様、そして参加の皆様有難うございました。



参加者

- 026 良縁寺悦子
- 172 島尾 愛子
- 413 野崎 光子
- 431 板川美恵子
- 528 平野 淑子
- 603 氏家 友枝

連載
第4回

伊豆・富戸だより4 1月の富戸

563 大脇 美都子



2008年1月中旬の週末。曇り。気温7℃。水温15.8℃から16℃。北東の風。波多少。エキジットで転ぶダイバーあり。

1月とはいえ3連休だから潜りに来る人多いかなと思ったのは甘くて、タンク置き場はタンクも少なくさびしい連休となりました。

昨年11月からお客は激減したままだとエントリー口に向かう道すがらショップのスタッフがもらします。

「11月に入ったとたん見事に、ピタッ、と電話が鳴らなくなりました…」

怪談よりこわい話です。が、黙っているとなおこわいので喋ってみます。「何故でしょう？」

「たぶん、いきなり寒くなったためかと」もうだめです。これ以上聞いたらますますこわくなります。だって、11月恐怖は、大人気の整体の先生からも聞いて震え上がってましたから。彼は言いました

「お昼ご飯を座って食べれるなんて初めてです」それは結構なことです。ご飯は毎日3回座っていただくものです。しかし、整体術師の彼にもダイビングガイドの彼にも、「座ってお昼ご飯を食べる」ほど暇だなんて「怪談」以外ではないらしく。

さて、ちょっと波ありの富戸、ヨコバマです。潜ってみると小さなソフトコーラルがいつもの冬より多く見られます。ダイバーが多かったらソフトコーラルは育ちません。踏みつけられたり蹴られたりして死んじゃいます。これはやっぱり潜る人が少ないのね。ソフトコーラルが元気で綺麗なのは嬉しい。しかし、お客減るのは困る。ダイビングフィーが上がるかも、ショップに電話が通じなくなるかも。寒さに震えつつ妄想を拡げていたらテンション下がること下がること。今日も、広いイソギンチャク畑は美しく、クマノミも元気、フリソデエビ、コガネキュウセン、カエルアンコウ、フタイロ

ハナゴイ、ナヌカザメの卵にタキゲンロックダイ。ダイバー少ないとそれらを独り占め。しかし、一日中独り占めしているとだんだん物寂しくなってくるのは、きっとここに何度も潜りすぎて、単純に珍しい生物を見て嬉しいだけのダイビングではなくなってきたためでしょう。富戸に通っている間に3年が過ぎてしまいました。ゲストもガイドもその分高齢化。ゲストの高齢化促進の第一人者としてとっても心細くなるのが今日のように「波あり」のダイビングです。

こうして波立つときもオープンしているけどこれからはどうでしょう。足腰弱いゲストに対応していけるのでしょうか。今回、ガイドのおねえさんがエントリー時に足を捻挫するアクシデントがありました。スキルも体力も立派なガイドさんなのでいままでだったら考えられないことです。(疲れる?)(年かな?)なんて口に出しません。「早くお医者行って治そうね」と、お互いにつこり笑うだけです。

「ねえ、海中エレベーターつけない？」

「いいですね、漁協に頼んでください」

「ショップ連盟が提言するんでしょ？」

「そんな力ありません。」

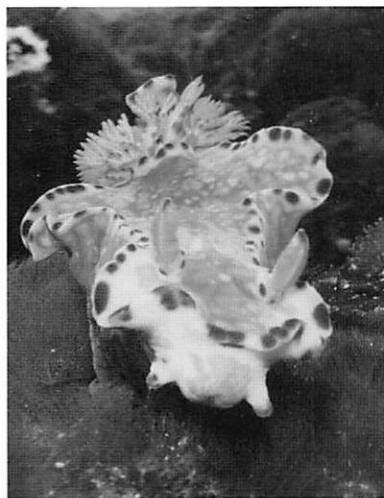
「なんだ、だめか」

「大事なお客様の言うことなら聞いてくれるかもしれませんよ」

やっぱり、寒さの和らぐことのない1月某日の富戸でした…。



フタイロハナゴイ



ニシキウミウシ

パラオでスキルアップ

(ツアーNO. 810 2008年2月25日～29日)

リーダー 005 大隅 楠夫

レポート 649 小杉 礼子



〈パラオでスキルアップツアー〉に行っておりました。会報でパラオは初めてで、100本前後の人優先のスキルアップ目的ツアーと謳ってありましたので参加させて頂きました。メンバーは大隅会長をリーダーとする8名でした。

その、スキルアップの成果は？

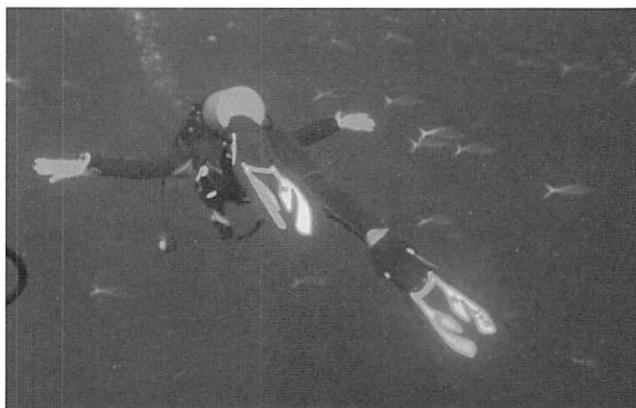
私達8名が、かのブルーコーナーの突端に、各々カレントフックを固定し潮流を感じながら、銀白色にゆらめき輝く大カマスを作る巨大な柱に息をのみ、遙か下方に行き交うグレイリーフシャークの砲丸のような頭部までしっかりと見て取ることが出来ました。すぐ目の前には、ナポレオン、ロウニンアジ、背後には、白い河の流れのようなオオメカマス達、等々。カレントフックに身を委ねる事により、しっかり根を張った海草の様に体を起こすと、その視界は劇的に広がり、海は壮大な1つの宇宙になったかの様でした。出発前、大隅さんより各自具体的な目標をとお話がありましたが、現地でもデイドリムの秋野さんが、基本スキルに加え、カレントフックと安全フロートの操作の2つに的を絞ってくれました。

秋野さんは、先ずダイブコンピューターの無減圧潜水時間の読み方から始めてくれました。安全停止には、特に入念にチェックを入れましたので3日めには、全員所定の位置にきれいに静止出来るまでになりました。その後の浮上に関しても、小さな泡よりもゆっくり上昇できるまでになりました。私には基本的に忠実に行動できた事が、とても心地よく思われました。

カレントフックの練習は流れのないところで落ちて着いて行えたので、ブルーコーナーに行っても慌てずに使う事が出来ました。

フロートの練習は水面に浮上後、8本のフロートを海上に林立させて、ボートを迎えたのでした。実際に海中でフロートにエアーをいれ、それを真っ直ぐに立ち上がらせるのは、結構難しい作業でしたが普通に体験出来た事は、とても良かったと思います。

秋野さんはバディシステムについても語ってくれました。それは「インストラクターに安易に命を託するのではなく、もっとバディシステムを理解してほしい」という事でした。



29日、私達は皆、ちょっと饒舌に成る程の達成感と、幾分かの名残惜しさを胸に帰国の途に着きました。アリガトウ、パラオの海。

初心者には、今回のような企画は大変有難く、継続を切望いたします。



参加者

005 大隅 楠夫
006 大隅 照子
551 手島 惟人
568 大沢 一夫
569 大沢 雅子
610 白松 礼子
625 東田 澄江
649 小杉 礼子

パラオはダイバーの憧れの海の一つだと思います。ただかなり経験を積んだダイバーでなければ、楽しむことが難しい海と言われています。

デイドリーム・パラオの秋野さんからスキルアップコースの提案があり、100本前後の会員を主としたツアーを組みました。何処までパラオの海を楽しめるか期待半分、不安半分で出かけました。

結果は3日間という短期間ではありましたが、非常に内容の充実したコースを体験する事が出来ました。

2日目には全員ブルーコーナーに自力で潜れるまでスキルアップの成果を上げることが出来たのです。

成功の要因は、何といたっても参加者にスキルアップの意欲があった事、そして秋野さんが知識と実践を組み合わせながら楽しみながらスキルアップできるプログラムを組んでくれた事です。また適度な緊張感が保てる日程だった事もあったと思います。

初日の1本目のロープ潜降からスタートしたコースでしたが、フリー潜降、中性浮力、安全停止、安全浮上をしっかり身に付け、予想以上の成果だったように思います。バディおよびガイドとのアイコンタクトの重要性も学びました。ドリフトダイブに関して、「ガイドのブリーフィングを聞き逃さないようにお願いします。そのポイントのテクニックやコツなども含まれますから、その情報を得ることで、より楽しく面白く潜ることが出来ると思います。」との注意がありました。

フィッシュウォッチングに関しても注意がありました。「小さな魚達は上から攻撃されることが多いので、上を警戒している。上から近づくと逃げてしまうが目線を同じにして近づけば寄ることが出来る。」

潜ったポイントは、1日目ジャーマンチャネル、ニュードロップオフ。2日目ゲメリス・コーラルガーデン、ブルーコーナー、ビッグドロップオフ。3日目ブルーコーナー、ブルーホール、ジェリーフィッシュレイク(シュノーケル)でした。

2回目のブルーコーナーでは皆少し余裕が出てきた様子で、ウミガメ救出のハプニングもあって感動のダイビングを楽しみました。

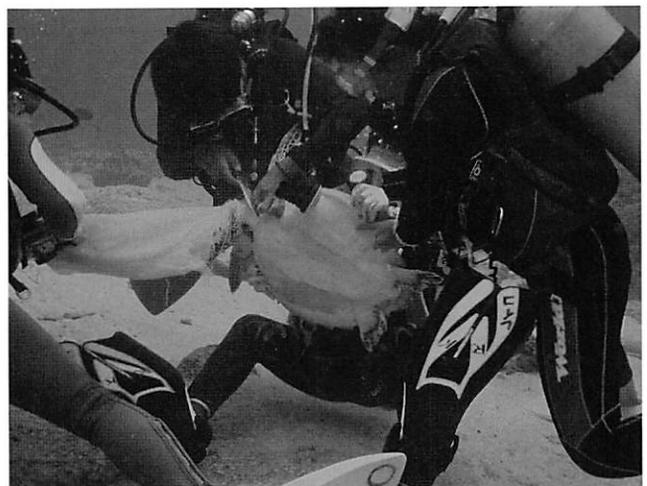
最後の日はのんびりと島内観光で博物館、水族館をまわり、パラオの歴史と自然を少しだけ学びました。また、ランチ休憩で上陸した無人島でSDC会員の江藤さんと一緒になりました。何と言う偶然でしょう。海の仲間の世界は狭いものです。

今回スキルアップのツアーを担当させていただいたガイドインストラクターとして目標にしていたのは「全員でブルーコーナーを潜りきる」ことでした。

3日間のスケジュールを3段階に分けてその日ごとにゴール設定をして行いました。特に気をつけていたことは、指摘→認識→練習→実践→体得 とステップを踏むこと。これによって効果的に自分のスキルが上がっていくことを実感できます。練習するためのツアーではなく、実践するためのツアーであるよう心がけました。

初日はダイビングスキルの補強と練習をファンダイブの中で行い、2日目の1本目でブルーコーナーへ潜るための実践的なテクニックを練習、2本目で実際にそれをブルーコーナーで試しました。3日目は前日までに練習したことの「総まとめ」。まとめと言っても、昨日までの反省を踏まえてメンバーの皆様が自分なりにブルーコーナーをファンダイブすることがゴールです。前日にも潜っているポイントでしたからストレスも少なく、皆さんそれぞれ自分のダイビングを楽しんでいただけたのではないかと思います。

日程中は風が強い日が多くコンディションはベストとは言えませんが、それでも参加メンバーの皆様にはご自身のスキルアップの実感と、ブルーコーナーを潜りきった達成感を感じていただけたのではないかと思います。最終日の打ち上げでの皆さんの素敵な笑顔が僕にとって何よりも嬉しいご褒美となりました。ありがとうございました。



ウミガメの救出

マリンクエスト号でのスミランクルーズ

(ツアーNO. 826 2008年2月11日～17日)

リーダー 480 菅沼 良次

レポート 653 吉川 富美子



インド洋北東部にあるアンダマン海は、ダイバー憧れの海のひとつです。季節風の関係でダイビングシーズンが11～5月に限定され、毎年海がリフレッシュされ魚影が濃く、大物・小物派も癒し系ダイバーも満足させるゴージャスな海です。今回は、スミラン・スリン&リチュルーロックをマリンクエスト号で、日本からのゲスト18名、日本人スタッフ4名で4泊5日のダイブクルーズを楽しみました。



レオパードシャーク

2月11日、関空より4名、成田空港から2名の総勢6名が参加、それぞれバンコク経由でプーケット到着、車で1時間ほどタプラム港に移動しました。港に停泊のマリンクエスト号に乗船し、遅れて到着した関西チームと合流しました。ボートの施設やダイビングのオリエンテーションの後は、明朝6時45分の起床に備え早寝…しかし、別名SDC (Senior Drinking Club) メンバーは、心地よい潮風の中ビールを飲みながら、ダイビング談義の後に就寝…

ダイビング初日はチェックダイブで、【THE CHANNEL】、少しくもり気味、海の中は流れもきつなくインド洋に慣らしながら、パウダーブルーサージョンフィッシュやブラックシュリンプゴビー、砂地に倒れた「乙女の像」など。2本目は、ちょうど1本目の反対側のポイント【MORNING GLORY】、ソフトコーラルが美しく、クダゴンベに黒いハナヒゲウツボの赤ちゃんなど…3本目は【ANITA'S CORNER】、ブラックピラミッドバタフライフィッシュやツバメウオの群れ、4本目は、船を北上させて【EAST OF EDEN】、水深6～30mのなだらかな斜面に、美しい珊瑚礁。ダイビング2日目は、目覚めれば大風(6時30分に起床)、1本目は【WEST OF EDEN】、

ゴツゴツした岩が突き出ている、ハードコーラルがたくさん群生しているポイントで、イソマグロやカシミ&ロウニンアジ、他にもタイマイやサバヒーの群れも…2本目、【WEST OF EDEN からWEST OF SIX】、お昼を食べ終えた後はNo.8の島、綺麗な白い砂浜のドナルドダック・ベイに上陸し、涼しい木陰で一休み…3本目【NORTH POINT】では、レオパードシャークと記念撮影し、後半は浅瀬の珊瑚礁をドリフト、その後船は北上してボン島へ。4本目の【WEST RIDGE】は流れが強く、コガネシマアジ、ツムブリ、イケカツオやロウニンアジなど大きな魚がたくさん…ダイビング3日目は心配していた風もおさまり【RICHELIEU ROCK】で4本、ギンガメアジ、バラクーダ、フェダイ系の群れ、マクロ生物も豊富で何度でも潜りたくなるポイントです。ダイビング最終日は6時45分起床、南下して2本とも【KOH BON】、みんな狙うのはもちろんマンタ!! やってきたサーモクラインの嵐はとても冷たく、びっくりしました。ランチの後、器材洗い、ログ付け、記念写真など後、様々な思い出を胸にマリンクエスト号を下船しました。

バスでプーケットのパトンビーチにあるホテルに到着し、プールを望む広いお部屋でリラックスできました。夕食は、クルーの全員でタイ・スキのレスト

ランで打ち上げを行いました。今回ガイドをしてくれた有香さんも、陸に上があれば28歳のお嬢さんで、食事のテーブルで見た真珠のような大粒の涙に、こちらもらい泣き…大変な仕事ですし、これからも明るい笑顔を忘れずに、頑張っって欲しいと願っています。

ダイブクルーズは、一度体験したら病み付きになる「潜る！・食べる！・寝る！」のとても贅沢な生活です。目が覚めたらもう目の前はダイブポイントで、誰よりも早くポイントを独り占め出来る醍醐味もあります。朝食前の1本から毎日4本、下船する最後の日には2本でしたが合計14本、体力の消耗も少なく連日ダイビングを楽しむことができました。今回のクルーズでは、ジンベイやマンタに出会うことはできませんでしたが、インド洋の豊かな魚影や可憐な美小魚、ダイナミックな水中の景観、ソフトコーラルやハードコーラルが元気な美しいスポットに癒されました。前回のスマランでも潜行ロープに「ふきながし」状況の激流ポイントを潜りましたが、今回もきついカレントやサーモクラインの嵐など、それぞれ変化に富んだポイントを潜れ、よい経験になりました。マリンクエストは日本人女性がオーナーで、ガイドさんも日本人、ゲストも日本人主流のため日本人向けのサービスを提供。特に船の中では、美味しいタイ料理の

食事や快適な施設に加え、ダイビングごとのふかふかのタオル、ウエットスーツの着脱のヘルプなど、タイ人クルーが笑顔でよく働き、きめ細かいサービスが印象的でした。私にとって2回目のSDCツアー参加で、関西の方とは初対面でした。会報で紹介されているように、関西の皆さんは明るく団結力があり、楽しい思い出のツアーとなりましたこと、とても感謝しております。

参加者

- 406 立木 博信 (サブ・リーダー)
- 474 山田智恵美
- 480 菅沼 良次 (ツアーリーダー)
- 508 安積 信
- 632 遠藤 秀子
- 653 吉川富美子



ボホールツアーレポート

(ツアーNO. 802 2008年3月1日～6日)

リーダー&レポート 406 立木 博信



ボホールツアーは関西のスキルアップツアーから始まったものですが、関西地区の会員はインストラクターが2名、DMが5名、ADが約20名と一応スキルアップは終了したと言えます。ボホールのGOODダイブショップは初心者や我が儘なダイバーにやさしいところなので、ここでなくては嫌だというダイバーが関西でも5名ほどいるので、ついでに関東の初心者の方や1度見に行ってみようと言う物好きな会員のために毎年2回ツアーを出しています。

今回は関東から6名、関西から2名合計8名の会員のツアーになりました。1日目はマニラで成田発関西空港発の2組が合流してマニラで国内線に乗り換えタグビララン(ボホール)空港に16時30分頃到着、迎えにきていたGOODのスタッフで関西地区のアイドル・会員番号601番の富田恭子さんや神田真児さんと一緒にボホールトロピックスリゾートに到着。

部屋にチェックインした後、機材を出して(これはスタッフがショップに運んでくれます)ショップに集合、ダイビング関連の書類を書いてブリーフィングを聞きます。

3月1日はショップのオープン記念日なので夜はレチョンパーティー。

2日目は朝8時集合ですが、経験本数10本の東田みちほさんご希望により、ファンダイブに行く前にホテルのプールで機材を付けてマスククリアーや基本的なスキルのおさらいをしました。現役の看護師の富田さんによる希望者の血圧測定もあり、健康状態の

問診もあって、ショップのすぐそばの港からバンカーボートに乗船します。

チーム分けですが、百瀬さん、市嶋さん、児島さん、東田澄江さんに私の5名はトップが富田さんのガイドでバックにトモちゃんとフィリピン人のジョイの3名のスタッフが付くことになりました。藤井さんご希望により男前のウェルジと東田みちほさんは日本人のコウタ、船戸さんは美夏ちゃんが付くことになりました。8名に6名のスタッフに面倒を見てもらうことになりました。2日目からは東田澄江さんはAD講習ということで別メニューとなりました。藤井さんと東田澄江、東田みちほさんはカメラデビューでダイビング前にスタッフにハウジングにカメラをセットするところから水中での注意事項まで教えてもらっていました。

GOODダイブショップではプールでの追加実習、カメラの使い方、ダイコンの使い方などCカード講習アドバンス講習などの講習以外全て無料で行ってくれます。ボホールツアーはスキルアップツアーですが、特別にカリキュラムを組んでスキルアップをするのではなく、個々の要望に応じて行いますので、中性浮力、フリー潜降、フロートの上げ方など必要なスキルについてツアーリーダーまで申し出ただけでインストラクターから指導してもらいます。スキルアップしたくないという方とか、体力に自信の無い方にも適したツアーです。



参加者

- 074 藤井 泰代
- 434 百瀬由美子
- 456 市嶋 健一
- 457 児島慎之介
- 625 東田 澄江
- 642 船戸ミチ子
- 670 東田みちほ
- 406 立木 博信

ボホール便り

601 富田 恭子



SDCの皆様、こんにちは～！！私は会員N0601
富田恭子と申します。関西

SDCの中では『將軍』と呼ばれています♪
去年の10月より、SDCツアーでも利用していただいているフィリピン・ボホールの『GOODダイブショップ』でインストラクターとして働いています。それまで日本では11年半、看護師をしていました。「ダイビングは趣味、仕事にはしない」と昔から決意していたのですが、そういう運命だったのか？いろいろな状況が重なって、今、ボホールに住んでダイビングを仕事に毎日過ごしています。

私の父親は10年前からネパールに移住して仕事をしており、また妹も数年前に2年間、父の仕事を手伝いながらネパールで生活していました。そのため、父と妹は英語がペラペラで、私はいつも羨ましい気持ちでいっぱいでした。英会話をマスターするには海外生活が一番！と思うものの、看護師として海外で仕事をしながら生活するのは難しいし、ネパールで父の仕事を手伝うのも何か違うし…と思っていた頃に出会ったのが『GOODダイブショップ』でした。2004年9月に友達と初めて遊びに行ったのがきっかけで、3年の間に10回も遊びに行くうちに、ここでならインストラクターの資格さえ取れば、働きながら生活できるかもしれないと思うようになりました。

初めてGOODへ遊びに行った時から違和感がなく昔から知っている場所のような気がして、2度目に遊びに行った時には関西SDC幹事の立木さんと運命の出会い？！立木さんから「ナースでイントラがGOODにいてくれたらSDCは安心だな」という口車に乗せられ？決意は固まってきました。看護師をしていたという職業柄、私は子供や同年代の人より、お年寄りが大好きで(私のいうお年寄りというのは80代～100歳代なのですが…)GOODダイブショップのゲストは年齢層が高いというのも魅力の1つでした。

決意が固まったとはいえ10年以上、働いていた職場を退職するのに1年かかり、また実家を出て1人暮らしをしていたため、退職の手続き、実家への引っ越し、海外生活の準備など、日本での最後の1ヶ月はめまぐるしい日々でした。遊びで行くのと仕事として行くのとでは違うだろうし、楽しみでもあるけど、本当に私に務まるのだろうか…、1人暮らしを10年以上してきた私がスタッフハウスでの共同生活に馴染めるのか…など、不安も大きかったです。でも実際に

来てみたら、そんな不安はまるでなかったかのよう
に？！スタッフハウスでの生活にも3日くらいで慣れ
ました。それも、今、一緒に働いている真児さんを
はじめ、じゅんさんやみずきちちゃんが優しくいろ
ろ気遣ってくれるおかげだと思って感謝しています
(仕事が務まっているのかどうかは疑問ですが…)

フィリピンでの生活についても、よくゲストから
聞かれるのですが、もともと順応性が高いのか？た
だ単に鈍いだけなのか？(後者のような気がする…)
特に困ったことはありません。ごはんもおいしいし、
夜もよく眠れるし、日本にいた時は朝ごはんを食べ
ることもほとんどなかったのですが、ボホールに來
てからは1日3食しっかり食べて、早寝早起きで、日
本で生活していた頃よりずっと健康的な生活を送っ
ています。

ただ1つ、遊びで来るのと仕事で来るのとでの違い
と言えば、今まではゲストだったので、ダイビングの
ポイントにしても夜の宴会にしても、連れて行かれ
るがまま、自分が今どこにいるのかもほとんど考え
たことがありませんでした。しかし、仕事となると
そういう訳にもいかないので、セブやボホールの町、
ダイビングポイントの地形を覚える必要があります。
初めてゲストをセブの空港からお見送りした帰り、1人
でスタッフハウスへ帰ろうとしてジブニーに乗った
ら反対方向で、だんだん淋しい道に入っていったの
で、慌てて降りて反対方向に乗り換えたら、今度は降
りるべき所を見過ごしてしまい、マクタン島～セブ
島へ渡る橋を超えてしまい、結局、タクシーで帰っ
てくるといふ失敗☆ゲストと一緒にじゃなく1人でよかつ
た…と胸を撫で下ろしました。この失敗のおかげで
？！セブの町はバッチリ覚えました。

石の上にも3年、まだまだ勉強することがいっぱい
の1年目ですが、とりあえず3ヶ月は乗り越えられた
ので、少なくとも3年はここでがんばって働こうと考
えています。これから、どんな風に成長していけるの
か自分でも楽しみです。私の成長ぶりを見届けに、
サンミゲルビールが飲みたくなったら、ぜひぜひボ
ホールGOODに遊びに来てくださいね♪SDCの皆様
にお会いできる日を楽しみにお待ちしております♪





ガラパゴスアグレッサー

今まで行ったことのあるところ以外に、世界の海には、一体どんなSiteがあるのだろうか？と、沢山の資料を随分読み漁りました。

特に参考になった参考書は、New Holland社発行のJack Jackson著TOP DIVE SITES of the Worldと、Peripulus社のEgidio Trainito著The Best Dive Sites of the Worldで、この二冊は、絶対お勧めです。

アメリカのScuba Diving誌、イギリスのDiver誌、ドイツの(読めませんが)Unterwasser、ニュージーランドで発行され、凄く南太平洋について詳しい、Dive Pacific、シンガポールで発行されているAsian Diverなどの雑誌の特集記事も大いに役立ちました。

其処の海のベストな季節は、いつ頃か？その海に、ベストな季節に行けるように旅程が組めるか？アライアンスのネットワークの中に、其処が含まれているか？ガイドは何処に頼めばよいか？其処は、どんな程度の規模のところか？信用して出かけてしまって良いところか？問い合わせに対する、反応ぶりは？宿泊するところは？送迎はしてくれるのか？等々、確認することは尽きません。

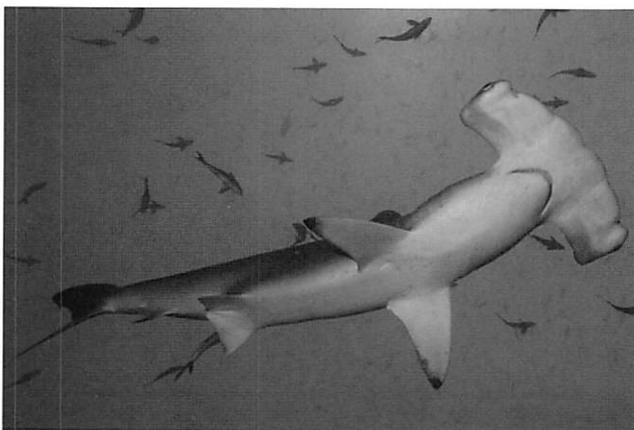
何処のアライアンスを使えば、何処を周遊可能か？現在、世界一周のチケットを発行しているアライアンスは、

1. ルフトハンザ、ユナイテッド、スカンディナビア、全日空などのスターアライアンス

2. エールフランス、KLM、ノースウエスト、コンティネンタル、スカイチーム
3. アメリカン、ブリティッシュ、キャセイ、カンタスなどのワンワールドエクスプローラー
4. アメリカン、カンタス、ブリティッシュ、JALが、加わったグローバルエクスプローラー
5. コンティネンタル、KLM、南アフリカ、エアパシフィック、ケニアなどが加わったワールドジャーニー
6. エミレーツとコンティネンタルで一周するアライアンス

などが有りますが、さまざまな理由から、私は、5.のワールドジャーニーを使いました。旅をしての結果は、云うこと無し結果オーライでした。

特にフライトが長時間になる、南アフリカ航空、エミレーツ、のシェルフラットのシート of the 座り心地の良かったのと、ふかふかの羽布団でぐっすり眠れた快適なフライトは、絶対のお勧めで、何時も、アテンダントが優しく、新しいフルフラットのシートが設置されたマレーシアエアラインも、二重丸でした。



ココス島のハンマーヘッド

どんな順番で廻ったら希望のところに行け、廻れるか？マイル制限、ストップオーバーの数、その他クリアーする条件は？まだまだ、山積みする問題があります。これらについてはチョット難しい事柄がいろいろ有りますので、ご興味の有る方は、ご連絡ください。詳細をお伝えします。

jidiving@yahoo.co.jp

海に魅せられて ソロモン諸島

033 小村 昌三 (協力: 034 小村 美枝子)

野生に遇える海、海の中に自然があり、大物からマクロまで楽しめます。陸上でも海の中にも第二次大戦の後が今なお色濃く残っています。

パプアニューギニアの東に位置し、大小1,000を超える島々からなる群島国家です。人口は46万人で首都はホニアラで人口5万人、ガダルカナル島にあります。

ガダルカナル島は、第二次世界大戦中に日本軍と連合軍が激突した島であり、いたるところに日本軍や連合軍の残した朽ちた兵器が今も放置されたままになっています。大使館には仏壇が安置され、お線香をあげること

が出来ます。

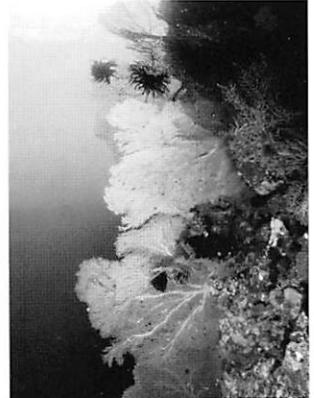
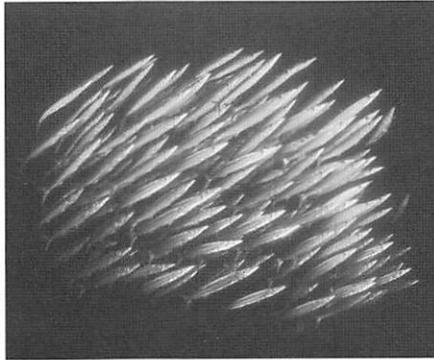
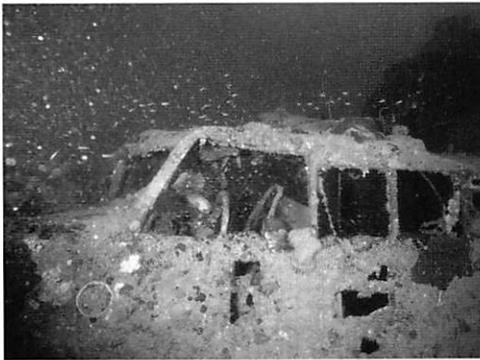
ダイビングでも、水中に残された船、飛行機、戦車など見ることができます。

ダイビング情報…ツラギ島に一カ所のみ有ります。ホニアラより船で15分ほどです。

島から10分ほどで沈船があり零戦や大型の航空機、魚の種類も多く飽きることが有りません。

他に、ビリリキ号・スプリットオフソロモン号と言う2隻のクルーズ船が有ります。

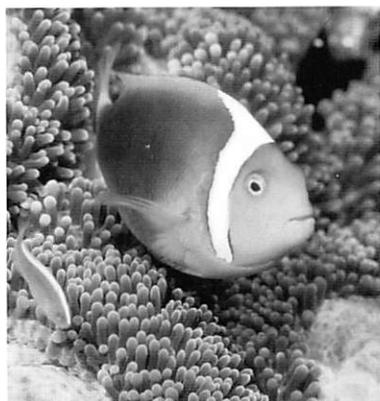
他に、ガダルカナル島より離れますが、ホニアラから飛行機で1.5時間ほど北西にギゾ島がありダイビングスポットとして知られています。何もないホテルと自然だけの島です。



左/飛行機の残骸
中/カマスの群れ
右/手つかずの海



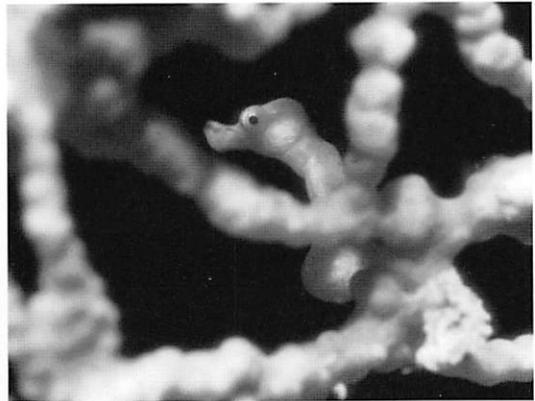
左/伝統的な島の踊り
右/島の子供



ボンネットアネモネフィッシュ



ウミウシの仲間



ピグミーシーホース



昨年12月、マレーシアのボルネオ島の沖合いにあるリゾートカパライに滞在し、シパダンに通いました。シパダンは、バッファローフィッシュ、バラクーダ、ギンガメアジ等はまだ健在で、早朝のバッファローフィッシュの群れは一見に値します。それにカパライの栈橋の下にわんさと魚が群れておりおもしろかったです。今回のカパライのリゾートとシパダンを紹介します。

事が出来ます。食事はまあまあで、女性に言わせると、デザート、果物が少し物足りないそうです。ここは、お酒の持込OKなので、各自持ってきたお酒を持ち寄り毎日宴会でした。



3. カパライリゾート

1 アクセス

マレーシア航空で成田を13時30分に発つと、ボルネオ島のクタキナバルに18時30分に着き、その日はホテルに一泊。翌朝7時に国内線でタワウに向かいます。そこから車でセンポルナまで約1時間30分、さらにボートで約40分、午前11時頃にはカパライに着きます。

早朝クタキナバルを発つとき、飛行機の左側の窓から、ジャングルにそびえる東南アジア最高峰キナバル山(4,095m)が見られます(写真1)。頂上がギザギザした山で、今だにどれが頂上なのか分かりません。雲より高いので必ず見えます。



1. キナバル山
(4,095m)

2 リゾートの様子(写真2、3)

(1) ゲストルーム

カパライには陸がなく、すべてが水上コテージです。風が吹き抜け、気持ちがいいです。クーラーはありませんが、天井のファンで十分です。小さい冷蔵庫があり、水やビールを冷やすのに便利です。

ここにはバスタブがあり、お湯をいっぱいにはって入ると最高です。

(2) レストラン

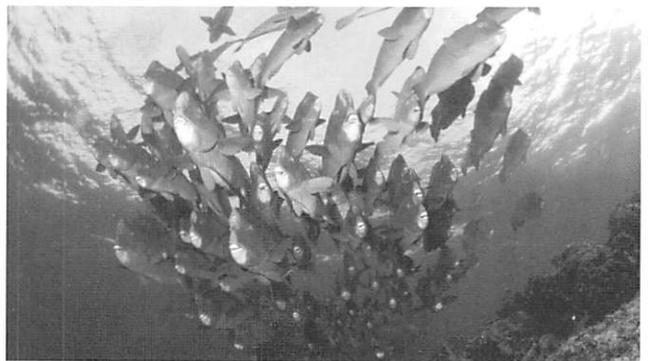
眺めがよく、サンセットを見ながら食



2. カパライリゾート

3 ダイビングスタイル

早朝ダイビングが午前5時半スタート、シパダンのバッファローフィッシュを狙います。シパダンでそのまま2本潜りカパライに戻ります。9時半頃遅い朝食をとり、11時頃3本目はカパライの周辺を潜ります。主にマクロ中心です。その後はバディ同士でカパライのハウスリーフを自由に潜れます。



4. 早朝のバッファローフィッシュの群

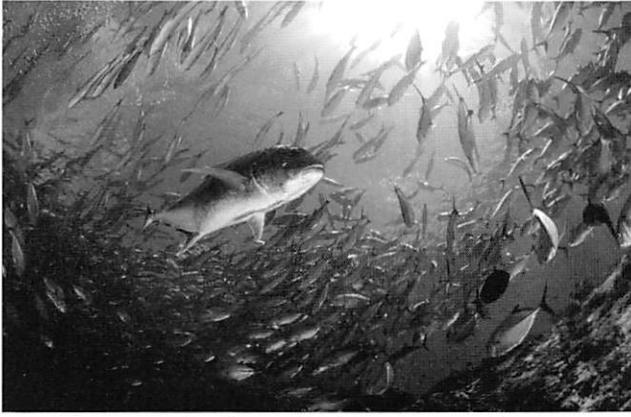
4 海の中の様子

早朝のバッファローフィッシュは見る者を圧倒します。50~60匹の群れが、朝日を浴びて整然と整列してびくともせず、出発の合図を今かと待っているようです(写真4)。こんな光景はシパダンでなければ見られないでしょう。見られる確率も80%とっていました。私達も4回トライしましたが、4回とも会いました。

バラクーダも健在で、数千匹の群れでやってきます(写真5)。でも昔のように、トルネードはなかなか見せてくれません。世代が変わったのかもしれませんが。見られる確率は30%位でしょう。



5. バラクーダの群



6. ギンガメアジを追うロウニンアジ

ギンガメアジはここ数年、栈橋から少し離れた小さな湾のようなところで、数千匹の群をつくり、同じ所をぐるぐる回っています。これを数匹の体長1m以上はあるロウニンアジが追っかけています(写真6)。ですから見られる確率は100%です。

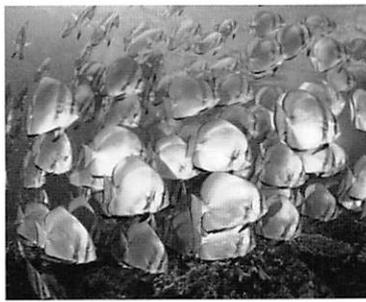
そのほか群れでは、相変わらずクマザサハナムロがカスマアジに追いかけてられています(写真7)。



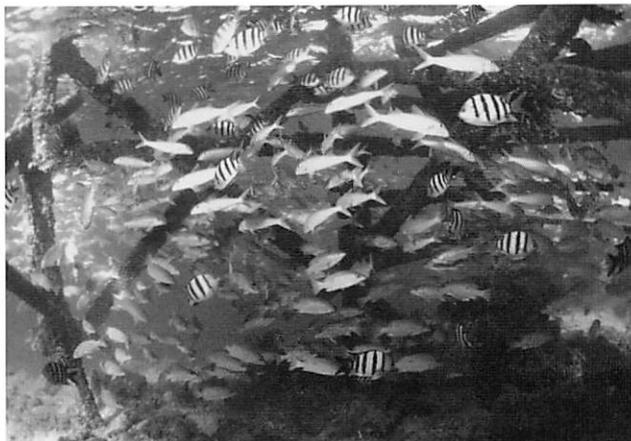
7. クマザサハナムロの群
8. ツバメウオの群

ツバメウオも大群で群れています(写真8)。

キンギョハナダイがお好きな方は、ウエストリッジ(ポイント名)で潜れば、珊瑚の周りにわんさと群れています。その他、アカヒメジ、ヒメフエダイ、ムレハタタテダイ、マダラタルミ、コショウダイ等の群れに会います。



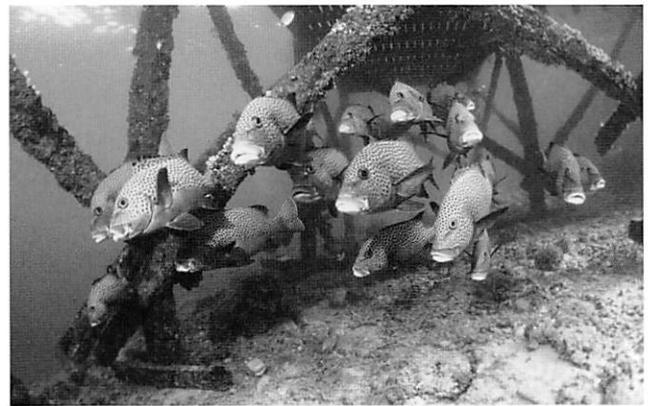
魚の群れがお好きな方は是非一度シパダンで潜ることをお勧めします。



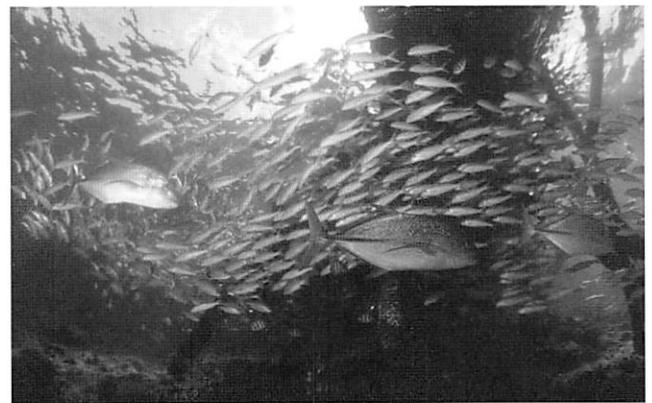
9. カパライの栈橋の下

カパライの周辺は、マクロが中心です。ハゼやウミウシが沢山いました。また、50~70cm位のハタの仲間があちこちにいました。でも透明度は6~7mとあまりよくありません。でもリゾートの栈橋の下には、数百匹のアカヒメジ、ヨスジフエダイの群れに、オヤビッチャが群れていました(写真9)。

底には、十数匹のコショウダイやワニゴッチがいました。それに群れを離れた大きなオニカマスやバツファローフィッシュまで栈橋に来ます。この群れを、カスマアジが追っかけてまわすと、栈橋の下は上へ下への大騒ぎになります(写真11)。でもコショウダイはこの騒ぎには気も留めず相変わらず、流れに向かって並んでいます。そしておもしろいことに、夕方4時頃になると、隣の栈橋の下で整列しています(写真10)。



10. コショウダイの群 11. 群を追うカスマアジ



(5) シーズナリティ

カパライ、シパダンは一般的に乾季の3~6月、それと9~10月も天気がいいので、ベストシーズンと言われています。私はここ毎年、クリスマス前の比較的空いている、12月の中旬に行っています。天候も悪くなく、雨も一日ぐらいです。

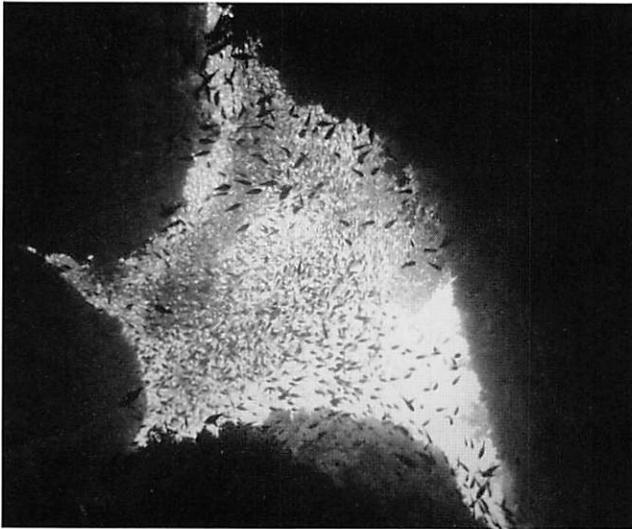
(6) 参加メンバー

270河原、369日置、615土居、449大石、他2名の計6名です。



長崎県の五島列島は九州の西、東シナ海に浮かぶ大小無数の島々からなる南北に細長い列島である。北半分は上五島と呼ばれるがこの海の中が06年にNHKのTVで紹介されたことがある。その時強い印象を受け行ってみる気になった。私がそれまでに潜った海は専ら南の海なので東京より北の海が珍しかったのかもしれない。昨年8月末私は長崎に飛びバスで長崎港へ向い、五島産業汽船の快速船(40分)で上五島の鯛の浦に着いた。羽田を出てから約4時間後だった。

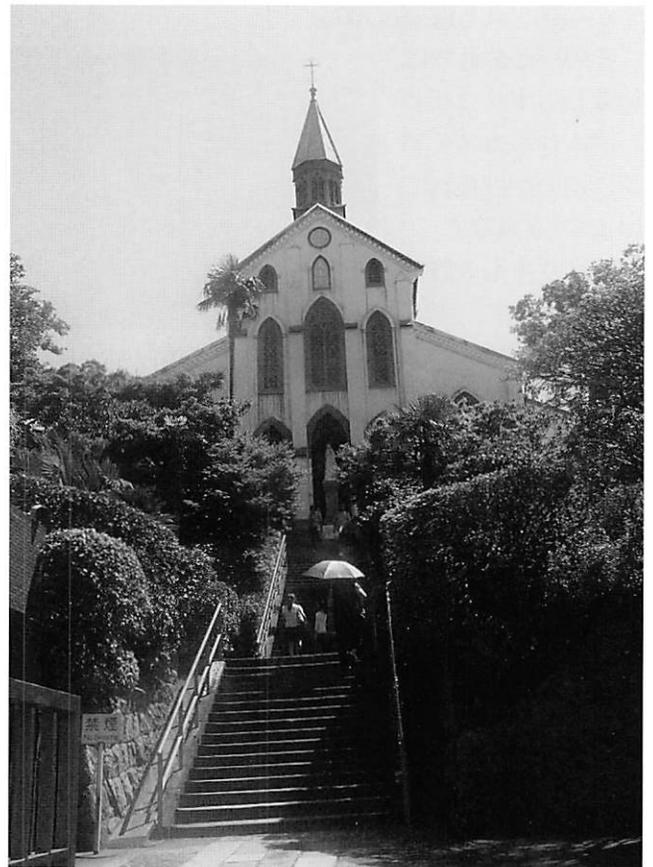
五島の海の特徴は黒潮に乗ってくる南の海でお馴染みの色鮮やかな見目麗しい魚たちと、日本海に棲むイシダイ、ブリ、マダイなど、一口でいえば見かけより「食べたら美味しい」魚たちが同時に見られることだろう。風のともししか行けないが、イシダイが5-6月の産卵期になると夥しい数の魚群になって集まってくる珍しいポイントもある。私が囲まれたのはキビナゴの群だった。小さいが何万とも知れぬ魚群の中で前が見えなくなったことも度々あった。



その他テーブルサンゴもあればお花畑のようなソフトコーラルの群生地もある。洞窟やアーチなどダイナミックな地形にもこと欠かない。また季節を問わずダイビングができる。

五島列島はキリスト教伝来以来キリシタンの多いところだった。それに1587年の秀吉の禁教令のため迫害を逃れて長崎から移住した大勢の信徒も加わり「隠れキリシタン」として秘かに信仰を守り続けてきた。今では小さな集落にも必ず教会があり、墓地には十字架を飾った墓石が並び、ヨーロッパの田舎

を連想させる。上五島だけで30ほどもある教会はそれぞれ建築様式が異なりその案内図もあるが、「隠れ」時代を象徴するのは荒波が打ち付ける断崖の裂け目にある奥行き50mの「キリシタンの洞窟」だ。アクセスは海からボートで行くしかない。入り口に大きな十字架とキリスト像があり、近くの教会の信者たちが毎年一度お祈りにきているそう。帰路、私は長崎に2日滞在して国宝の大浦天主堂など見物しながらキリシタン迫害史を少し勉強して帰った。



世話になった現地のダイブ・ショップ
「ダイビングハウス・ナイスばでいー」
代表 今田 哲也

TEL/FAX 0959-52-4147

E-mail : nice-buddy@ninus.ocn.ne.jp

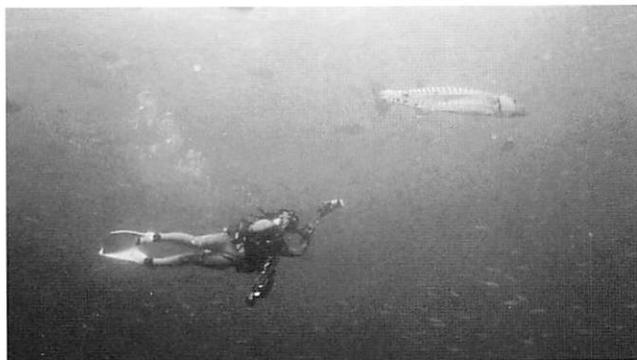
PCサイト : www.nice-buddy.com/

予約の際、高速船の割引を手配してくれます。



本数記念をこの船でしたい想いが基でしたが参加者全員、1,600本、500本、300本2人、200本、と誕生日祝もあり想いはいっしょという感じでした。1年前から予定を組んで予約も入れたのですが、この時点から例の年齢も含め、乾季をはずしてはというやり取りがあり日程変更やチャーターも含め検討、最終的に年齢の問題は雨季に乗船されてスキル上問題はないと言う返事で実施の運びとなりました。モルジブ側としては、決してやさしい海ではないので、年齢や本数などを考慮してまずスキルを確かめてみたいと思うのも無理からぬ点もあり、雨期に一度出かけてみるのもいい方法かと思いました。

海は大物3冠達成でマンタ、ジンベイ、ハンマーのほかにも魚湧くモルジブを潜れたので良かったと思います。ただ乾季にしては透明度がクリスタルになりきっていない感もありました。太陽もやけどするような日差しではありませんでした。



パラクーダを撮る仲間(島尾さん)

魚湧くモルジブに変わりはないのですがアカモンガラ半端でない数は珊瑚の白化の始まったときからさらに進んでいる感があります。珊瑚に関しては少しずつ復活の様子でした。真っ白な(白化ではない)ソフトコーラルがケープに下がって付いている美しいポイントが印象的でした。(以前は見えない気が!!)

朝目覚めの一本、あがって朝食、母船は移動、次のポイントまでうとうと、ドーニに移って2本目のダイブ、戻ってランチ、またうとうとしたりおしゃべりしたりカメラを調整したり、船は次のポイントへ。3本目のダイブ。あがって夕食。

時にイルカの伴泳あり。クルージングは楽で一番好きなスタイルです。

申し込みはBSの代理店サロンゴに直接しました。

いっき潜行に関して：耳抜きをこまめにしてはいたのですが片方がなかなかぬけきらなくて流れはかなりきつい、底まで早く行ってしまわないとリーフから離れてしまうのでとブリーフィングで聞いてたのであと数mと思った瞬間痛かった方がズボンと音がした。いつもキュン、キュンと抜けるのにこんな音は初めてで鼓膜が破れたと思い込んでガイドに知らせ全員を浮上させて船に上がらせてしまいました。めまいはないが耳は痛む。が、片耳塞いでみても聴力はある様子。念のため再度のダイブは中止して様子を見たが破れたわけではなかった。休息後次のダイブは出来ました。

帰国後耳鼻科受診、鼓膜は一部中にへこんだ状態でそれが一気に抜けたのだろうという所見でした。以前は耳抜きに気をつかうことなく自然に出来ていたはず。睡眠不足、風邪、鼻炎など耳抜きにかかわる体調のときは無理はしないと改めて思いました。かねてから問題になっていたモルジブと年齢制限の点を考えると一気に潜行するスタイルが必要なポイントでガイドに頼ったかたちでのダイバーはガイド側から言えばお断りにつながるのではと思いました。安全停止も含めロープを使わない海ですから中性浮力が必要とされる事は言うまでもありません。

(以前SDCツアー参加者から潜行できずにいたらガイドが引っ張りに来て底に着いてまた別の人の潜行を手伝いにあがってきたと聞いたことがあります。急潜行、急浮上を繰り返さなければならなかったガイドは大丈夫だったのでしょうか?)

旅行社の丁寧な知らせ、面倒見のある場合とそうではない場合も含めて先回の会報のDAN JAPANからの引用にあるように「家を出てから帰宅するまでを潜水時間と考える」とあるように健康管理、レンタルのきかない持ち物(Cカード、パスポートなど)の入念なチェックなど準備の段階から自己管理になるでしょう。参加者 SDC会員5名



コスメル島(メキシコ)

世話人 579 湯下 晃

参加者：SDC3名

実施日：2007年12月3日～10日

ダイビングは4日間10本

旅行会社：サン・アンド・アドベンチャー

(クラブ・アズール)

海況：ベストシーズンの乾季で晴天続き。毎日ベタ風。透視度40～50mで水が無いよう。潮の流れの強いポイントが多い。

ダイビングの特徴：カリブ海固有種のオンパレード。

リゾート&ショップ：フィエスタ・アメリカーナ・コスメル・ダイブ・リゾート&併設のダイブ・ハウス。

日本人女性ガイド1名。

セノーテ・ダイビング

石灰岩質の土壌のメキシコ・ユカタン半島で長年にわたって雨水と陥没により形成されたのがセノーテという泉です。ここでダイビングするのをセノーテ・ダイビングと云い、世界的に有名です。この地下水脈は海と繋がっており、水深は12mを境に下が海水、上が淡水になっていますので、所々で海水と淡水が混じるサーモクラインが発生します。

1) どこで潜れる？

中心になっているのがカンクン空港から車で南下すること約1時間の賑やかな港町プラヤ・デル・カルメンから少し南のトゥルム遺跡にかけたエリア一帯のセノーテ。10ヶ所以上のポイントがあります。プラヤ・デル・カルメンから車で約30分です。カンクンやコスメル島から日帰りでも、またコスメルで潜った帰途にも寄れます。

2) 楽しみ

水中で枝分かれしている洞窟をガイドの後からガイドロープにそって進みますが、洞窟内は変化があり、アドベンチャー気分満点です。水中鍾乳洞のスケールの大きさには唖然とするばかりです。洞窟を進むとやがて別の泉に出て、幅40～50mにわたり地上の緑の木々が水面を通して見え、木漏れ日が光のシャワーの如く水中に降りそそぐ様は実に美しく幻想的です。

3) 注意点

ウェイトは淡水故海で潜る際の約4分の1、全く不要の方もいます。エントリー時にチェックが必要です。洞窟の壁や底には泥がたまっていますので、巻き上げは厳禁です。さもないと視界不良でしばらくの間は身動きが取れなくなります。

4) シーズン

通年可能。水温も通年25℃と安定しています。

5) ショップ

プラヤ・デル・カルメンに数軒。日本語は通じませんが、英語でOKです。ショップによっては日本語の説明書をブリーフィング代わりに見せてくれます。

6) 料金

2ダイブ、タンク、ウェイト、ランチ、ショップとポイント間の送迎込みで120USドル。

7) 日本からの予約は？

カンクンやコスメルでのダイビングを扱っている旅行社でアレンジ可能。



ガラパゴス

世話人 507 永田 民子

レポート 450 竹内 千草

参加者：SDC4名(247 長野恭子 434 百瀬由美子 450 竹内千草 507 永田民子)

実施日：2008年1月27日～2月2日

海況：うす曇、波、流れあり 水温22～25℃

クルーズ船：スカイダンサー号

世界遺産のガラパゴスの入島審査があまりにも簡単で拍子抜け。

ナイトロックスのタンクが並べて置いてあるので間違えてセットしないよう注意。

ガイドはベテランだが、何事も自己責任。

ダイビング間隔が1時間、ハードである。

ピーコン(発信機)を失くすと160ドルとられる。

船は16人乗り、日本人は我々のみ。食事、部屋共に満足。

旅行社選びは慎重にしたほうがよかった。日程表が見にくくて、プラネットワイの永吉さんに作っていただいたものが役に立った。

旅行費用も高かったようだ。

ともあれ、ガラパゴスの海、自然はスゴかった！！



参加者：SDC8名

実施日：2008年2月23日～29日

宿&ショップ：ビラ・トロピカルパラダイス
(通称トロパラ)

旅行社：各自手配

アクセス：セブ空港より車で3時間

食事：日本人向けに作ったお惣菜が主なので安心で
きる

ダイビング：ガイドは日本人、アシストに現地ガイ
ドが付く。バンカーボートで出かけて、午前2本、美
味しい弁当を食べた後1本潜る。

海況：穏やかだったが、時に流れあり。この時期水
温がまだ低く26～27℃。

特徴：生物観察

大物魚が出なくても小物で楽しめる人、プールやテレ
ビもない小さな地味なリゾートを好む人、フィッシュ
ウオッチングかカメラに集中する人向きのリゾート&DS
です。



広告

COSMOSTREKの役に立たない旅行情報

澳門(マカオ)の急成長と世界遺産とグローバルマナー

最近の中国の発展には目を見張るものがあります。特に、北京・上海・深せん・東莞・広州・大連・珠海等の発展は驚異的で、また、香港のディズニーとマカオのカジノで、この地区のホテルの稼働は略満室状態で、R/Cも3年前の3倍近い料金に跳ね上がりました。

香港空港側の国際会議場やベネチアンの巨大バンケット&アリーナは各種産業の見本市・コンサート・国際ショー等が目白押しで、MGM・WIN・HILTON・ベネチアン・SUNS等、米国名のホテルが林立し、米国のラスベガス・ソルトレイク・アトランティックシティのコンベンションを彷彿させます。然しながら、何か少し違和感を禁じ得ないのです。何か空気が違うのです。

マカオは島全体が世界遺産みたいなエリアです。珠海市を抜けて開平市の世界遺産：自力村を見に行く町並みは、昔ながらの長閑な田園地帯が続きますが、ロバの引く荷馬車の脇を、モトローラー片手のサングラス&金指輪のスーパーリッチ・チャイニーズが最新のボルシェを駆り、爆音と砂塵を舞い上げ通り過ぎて行く…。彼らには、暖かい挨拶も、関心を示す微笑みも無いのです。片や農村では土間にレンガを積んだお勝手に粥をすすって居るのに、マカオのWINでは、約30秒に

一回の大小ゲームでMAXベット：10,000香港ドル(150万円)を惜しげもなく賭けて、勝っても負けても表情一つ変えない中国人が其処に居ります。

中国戸籍制度：通称『愚民政策』の導入は、脅威の貧富の差を作り出しました。

マネーゲームに飽きた都市部のスーパーリッチ・チャイニーズは、やがて私達のフィールドに出てくるのでしょうか。ゴルフ・スキー・登山そして、ダイビング。思いも寄らぬ高価な撮影機材の大量持込や、優秀なインストラクターの独り占め、ボンベやボートの買占め等、多少問題が生ずるかもしれませぬ…。然し、世界の自然の遺産は、中国人も含めて世界の人達のものであります。

せめて、私達は、グローバルマナーを弁え、ジェントルに淑やかに行動し、規則とマナーを遵守し、日本人らしく、自然を守ろうでは有りませんか♪ おおっと、大切な事を忘れておりました。

宣伝♪宣伝♪

旅行の手配はCOSMOSTREK

TEL：03-5702-9071 FAX：03-5498-3963

E-mail：武蔵丸コヤマは

trek@cosmos-techno.co.jp(海外・国内団体)

E-mail：ココナッツ娘/高沢は

traveldep@cosmos-techno.co.jp(国内・パッケージ)

箕面の紅葉ハイキング

2007年12月1日(土)

世話役 474 山田 智恵美



550 久保 暁美

306 宮本 節子

12月1日、山田智恵美リーダー企画にて、男性6名女性5名で阪急箕面方面へハイキング…

駅前から人混みをわけながら、比較的険しいコースの「地獄谷」へ歩き出し、途中お弁当を楽しみ、車道コースで滝まで降りてひと休み…「秋の夕日に照る山もみじ、濃いも薄いも数ある中に…」幼少の頃、習った童謡にも唄われているように、まさに紅葉の万華鏡…真紅色・橙色・黄色と、色とりどりに繰り広げられるさまざまな場面に一同大満足の至福の時間が流れて行く…最高の人出だったが、全員、元気に事故・怪我もなく下山。

箕面観光ホテルに到着…ゆったりと温泉で身体をほぐし、茶室のような趣のある夜景を望む座敷にて宴会。リーダーの持参したパソコンによるDVDのラヤンラヤン、立木氏の指を噛まれたという演出のあったモルディブのジンベエザメ・マンタを鑑賞して、楽しいひとときが流れ、締めくくりには12月生まれの私の為にケーキ付のお誕生会まで企画されていて、皆様より祝福のエールを戴き、何も知らずに参加した私にとって、まさに涙の出るほどの感動で幕を閉じ、満ち足りた気分での帰途に着きました。幹事の方々、ご参加の方々、皆様有難うございました。

参加者(11名)

002 一ノ瀬博司 074 藤井 泰代 181 平山 英子
184 岡本 剛亮 305 宮内 弘人 306 宮本 節子
470 池田 孝雄 474 山田智恵美 480 菅沼 良次
508 安積 信 550 久保 暁美



今年の紅葉は少し遅いらしいと…12月に入っ
ての紅葉狩&ハイキングとなり、危ぶまれたお天気も晴
れ、そんなに寒くもなくちょうど良い天候でした。

全国から紅葉狩りに来られるという…近畿大阪の
箕面市、こんなに近くで紅葉が、山々が、滝が、川が、
色とりどりに色づくところを見られるなんて、知り
ませんでした。最後の紅葉狩りの時期で人出はピー
ク、人を避けて少し険しいコースへと…そこから見
上げる紅葉もまたひとしお。

こちらの赤が綺麗、あちらの黄色も、薄ピンクもと
…移ろいゆく季節・自然がそこにはありました。
風が吹けば、はらはらと紅葉の葉っぱが散り、そんな
中をまた歩き、素晴らしい紅葉を見ながらのハイキング
・ウォーキング、色々な話をしながら、色づいた紅
葉の風景を写真に収め、楽しい一日となりました。

歩き疲れた後は、やはり温泉で疲れを癒し、身体
を温め、ホッとして…宴会に臨みました。そして途
中で並んで買っていた名物の紅葉の天婦羅も
食しました。美味しかった!

色々と趣向を凝らしていただき、お世話役のお二
人にはご苦労様でした。有難うございました。
また、次回もよろしく願います。



呑和会 第15回「新年イタリアン」

2008年1月26日(土)

世話役&レポート 306 宮本 節子



新年初の呑和会を大阪の本格イタリアンレストランで開催。今年も皆様との交流を深めるべく、楽しい会をいくつか開催したいと思っています。

今年初顔合せのメンバー、すでにツアーに行っただ楽しんだメンバー、そして、入会予定者の方、みんな元気な顔でお目にかかりました。

次から次へと出されるお料理を味わい・ワインを傾けながら、大いに飲み、大いに語りました。出される料理を味わう暇さえ惜しく喋り続け、飲むほどにいつものことながらダイビングの話に熱が入ります。

この会の良さは、勿論、美味しい食事をいただくこと、それに続いて、メンバー同士の交流・触れ合い、ツアー情報、実施ツアーでの問題点・疑問点等の反省、新ツアーの提案、器材の話から自分では気がつかないダイビングでの出来事や問題を聞ける

こと、また、色んな会やイベントが実施され、アフターダイブの楽しみが増えること…etcにあるようにも思います。マンネリ化しないように、また少しでも参加して下さるメンバーが増えるようにと思っています。

今年もよろしく御願い申し上げます。

参加者(13名)

181 平山 英子	184 岡本 剛亮
305 宮内 弘人	306 宮本 節子
406 立木 博信	407 立木 靖子
470 池田 孝雄	508 安積 信
556 田中 宏子	635 木脇 学
644 門井 久男	645 門井 和子
入会予定者 足立 公平	



「フリッパーの会」

2008年度フリッパー練習日程とオチョ・オチョな新年会：快気祝い・完走祝い会

世話役&レポート 277 堀田 恭正



正月が過ぎ、寒い寒いとぼやいていたらもう直ぐ春、2008年度の活動も本格的なシーズンを迎えます。東京辰巳国際水泳競技場での練習日程・4月、5月、6月までの確定分をお知らせします。

4月23日(水)15時～17時

5月14日(水)15時～17時

メインプール(水深2m) 参加費500円

6月11日(水)15時～17時

飛び込みプール(水深5m) 参加費1,000円

7月～11月未定(確定次第順次お知らせします)

アクセス

東京メトロ有楽町線「辰巳駅」出口2より徒歩15分

東京メトロ有楽町線：JR京葉線：りんかい線

「新木場駅」より徒歩20分

集合は14時30分プール事務所前ロビー

参加予約はFAX：TEL：メールなどで、277堀田まで。当日、直接来場される方もOK。皆さんの参加をお待ちします(初めての方も是非参加して下さい)。

さて、「フリッパーの会」は例年、全日本スポーツダイビング室内選手権大会が終わった日(12月初)に打ち上げを行ってきましたが、昨年暮、会のメンバーでいつも会場設営にお世話くださる038川上さんが大怪我をされ療養中のため、年を越して様子を見て新年会の形でやるという事にして延期していたところ、1月の総会時、前世話役・百野さん、指導役の杉本さん他から話がでて、新年会を行うことになりました。今回は川上さんの快気祝いに加え、東京マラソン42.195km完走祝い(514安部智枝ちゃん：542瀧さんが出走され、良縁寺さん達SDCメンバーが大声援を送った)など「お祝い」がいろいろあって、これはまた盛り上がるワイ、という予感がありました。

会場はいつもの川上さんのお店に午後5時半17名が集合しました。当日は東日本に春一番が吹き荒れ交通機関があちこちストップするのもなんのその、定刻には元気な顔が揃い宴が始まりました。例のとおり、しゃべって笑って飲んで食べての合間に、真っ青な歌、真っ青な踊り(会報No34号25P「真っ青…」参照)が店内に溢れボルテージが上がって行きました。

川上さんはまだ多少痛みが残るそうですが元気一杯、4月の練習が待ち遠しいとのことで安心しました。初参加の632遠藤さん、667児玉さんは初めのうちこそ目を丸くしていましたが直ぐに仲間入り、歌に踊りに大活躍、流石SDC「いつまでも青春主義」会員です。特に目を引いたのがSDCマラソン完走者コンビの瀧さんチエちゃんのダンスで、この元気さだったらマラソン往復も出来そう、と思ったほどです。



続いて始まったフィリピンショー・4人のダンサーの見事な歌と踊り、皆立ち上がり声を張り上げ、身体を大きく揺すって♪オチョ：オチョと歌いましたが(オチョ：フィリピン語=ハッピー=幸せ、の意味)もうヘトヘト、辰巳プールのフィン練習で085鈴木清子さんにシゴかれるほうがよっぽどオチョ：オチョ、楽だワイと思うほどでした。9時過ぎ、フリッパー会歌「青い山脈」の前奏が流れると全員立ち上がり肩を組んで輪になり50:60:70代の元気一杯の熟年たちが、息もピッタリ、高らかに歌い上げました。私は、人それぞれいろいろあっても人生は一回きり、これからも健康である限り元気に皆と前を向いて行こう等と思いました。

盛り上がった宴はこれでお開きとなりましたが、店とサービスを提供して下さった川上さん、裏方いろいろ動いて下さった方々、遠路参集くださった方々、本当に有難うございました。また、4月からの辰巳プール練習で元気一杯お会いする日を楽しみにしています。

世話役：

026 良縁寺悦子、357 佐藤 道子、541 関谷 恭正

初フルマラソンを走ったことから学んだこと

542 瀧 正明



東京マラソン当選の通知がきたのが、6ヶ月前。このままでは、ヤバイなあ～その時から本格的に足作りのトレーニングを始めました。

まずもって、何で走ろうと想ったんだろう？

ダイビングのために足腰を鍛えたい～もちろん、それはある。手っ取り早く美味しいビールを飲むために、汗をかきたい～確かにこれもある。健康で、長生きがしたい～でも、無為に長生きはしたくない。未知の世界へのチャレンジ…そうだ、1番の理由はこれだ、これです！

4年前にダイビングを始めた未知の海の世界をのぞいて見たい！この時と一緒にの想いです。

ただ、その時と違うことは、42.195kmを走るということは、きっと生半可なものではないんだらうから、これは地道にやるしかないだらうという漠然とした決心でした。

当初は30分でも息は上がるは、翌日は決まって筋肉痛の洗礼(これは、とつても数ヵ月後の完走なんて無理だなあ～)。

それでも、少しずつ、少しずつ、心肺クン～筋肉クンをだまし、だまし、走る時間を長くしていったら、筋肉痛も日を追うごとに減っていき、自分でも、痛みの軽減という事実から、全体レベルがアップしてきたことを(この歳でも)感じられる様になっておりました。より具体的には、心拍数が3ヶ月を過ぎた頃から、目に見えて落ちてきたことです。トレーニング前は1分間、65位だったと思うが5ヶ月目には46にまでなり、このまま行ったら止まるのでは(笑)と思いました。

掛かりつけの医師に「正明君、年齢に関係なくランナーの体になるもんだねえ～」と言われた時は、嬉しいというより、正直、人の体の順応性に、それなりに凄いもんだとの充足感に浸れました(練習だけでまだ、走っていないのに)。

東京マラソンを走ってみて、噂通り30km過ぎてからは、本当に、本当にきつかった。

その時支えとなったのは、沿道の方の「ガンバレ！」「ガンバレ！」の声援～これは力に、励みになった(ありがとう！)。

また、その声援に答えようと、自分を鼓舞したものは、6ヶ月間の練習～練習。でも、その時、脳裏をかすめた自分の姿とは、決して1人での練習ではなかった～仲間と一緒に練習した時のことだった(心底、仲間感謝！)。

ゴール～～。ヤッターという達成感！本当に嬉しかった、これは何事にも替え難い、やっぱり、目頭が熱くなりました。

スタートからゴール。エントリーからエキジット(その前の準備)、マラソンもダイビングも、そのイメージを自分で組み立てるという事では、一緒ではないでしょうか～。

まず、スタート・エントリー。いかに舞い上がらず、慌てず、力まず入れるか…マラソンもレース中、深く長く息を吐くことを第一に心がけ、息を吸う事に意識がいき、過呼吸となることを避けます。またたえず、肩の力を抜いたり、腕の力を抜いたり、自分なりにリラックスさせる事を工夫します。

ゴール・エキジットするまでは、何が起こるか知れず、油断はできません。

マラソンもダイビングも、その時全ての自分の体力、スキルで臨むしか他に方法(道)は、ありませんが、体力、スキルは、各人が違って当たり前です。走力、泳力、潜力、これらが人格に比例するものでは、決してありません。

スポーツに限らず、全てのことを通して体力、スキルの違いを認識し、お互いにその差を尊重し合う～これが1番大切なことでは、ないでしょうか。

僕の走ることの体力、スキルはまだ、まだです(失礼、ダイビングもだ！)。

しかし、少しずつ、少しずつ、体に負荷を掛ければ、心肺クン、筋肉クンも必ずやその想いには、ついて来てくれるという事を今回、確かに自分の体を通じて、学べた気がします。



第23回ジャズライブを楽しむ会

419 村上 あい子



今、日本で一番トレンドな場所の六本木に昨年オープンした“東京ミッドタウン”には、もう行かれましたか？

今回の「ジャズライブを楽しむ会」は、新年にふさわしく、この“東京ミッドタウン”内にある東京で一番新しいライブハウス「ビルボードライブ東京」でボサノバを……というのを企画していただきました。私は前回の「宮本信子のジャズライブ」に次いで二度目の参加です。

1月23日開催日。この日は東京では珍しく雪が降り、朝からロマンティックな気分でした。今日は初めての“東京ミッドタウン”に行き、ボサノバのライブが聴けると心もウキウキ。事前に千野さんから“東京ミッドタウン”の楽しみ方や交通手段や「ビルボード」までの行き方を丁寧に案内いただきました。無事“ミッドタウン”まではたどり着いたのですが、あまりの広さと、ステキなお店がたくさんでキョロキョロしすぎたせいか、いつのまにかホテル「ザ・リッツ・カールトン東京」に入っていました。レセプションで「ビルボード」の場所を教えてください、待ち合わせの時間にぎりぎりセーフ。

17時30分開場で18時30分開演です。

「ビルボードライブ東京」は私の想像をはるかに超えたスタイリッシュで、都会的で大人の雰囲気のライブハウス。それもそのはず、ここはクラブ&レストランとうたっているのです。開演時間まで、飲んでお食事をしながらおしゃべりをして、あっという間の一時間。演奏が始まり、今日の主役「ベベウ・ジルベルト」の登場です。彼女は、ボサノバの創始者の一人である「ジョアン・ジルベルト」を父に、ボサノバの人気シンガー「ミウシャ・ジルベルト」を母にもつボサノバ界のサラブレッド。期待がふくらみます。私は若かりし学生時代、日本にも新感覚の音楽ボサノバが入ってきたころ「ジョアン・ジルベルト」や「アストラッド・ジルベルト」の歌う“黒いオルフェ”“おいしい水”“イパネマの娘”等等、ソフトで優雅なムードそれに粋なセンスにあふれたボサノバに夢中になっていたものです。それがもう次世代のベベウ・ジルベルトが活躍しているなんて、自分もすっかり年を重ねてしまったのだな～という思いで、彼女の歌に耳をかたむけました。

さすが天賦の才能に恵まれた彼女はささやくような甘美な歌声で、昔のボサノバの良さも受け継ぎ、ベベウ自身のオリジナリティあふれる新しいブラジリアンミュージックで私たちを魅了してしまいました。やはりライブってスゴイ！！

アンコールにもこたえてくれ、皆大満足でライブは終了しました。さて、これで終わらないのがSDC。アフターダイブじゃなくてアフターライブ、次の舞台二次会へ…。同じ東京ミッドタウンのなかにある、しゃれたパブ&カフェでお茶して(もちろんお酒の人たちも)また、ダイビングや音楽の話で盛り上がりました。私は電車の関係で、ここで失礼することにしましたが、時間に余裕のある方や飲み足りない方は、三次会へと夜の六本木の街へと繰り出していられました。SDCのメンバーは本当に積極的で、お元気ですネ。私はダイビング以外でも「アウト・ドアーを楽しむ会」、そして今回二度目となる「ジャズライブを楽しむ会」に参加させていただいて、益々SDCでの楽しみ方が増えてきました。年々、人生が楽しくなるなんて、何てありがたいことでしょう！

千野さんの素晴らしい企画ときめ細やかな心配りに、心より感謝しています。

音楽何でも大好きな私は、また是非参加させていただきたいと思っております。



参加者(16名)

005	大隅 楠夫	007	大西亀美代	038	川上 秋子
128	平野 昌子	166	島田美世子	257	福士 紘一
370	千野 正勝	390	金井 達雄	415	加藤 京子
417	豊田 映子	419	村上あい子	427	木村 満男
486	埜 恵美子	578	中澤八重子	612	吉田 光子
615	土居 元枝				

第4回水中映像を楽しむ会

005 大隅 楠夫



水中映像を楽しむ会も4回目の開催となって、ただ作品を楽しむだけでなく、上映会の前に写真の勉強会をしようということになりました。動きのあるスライドショーと言えども元の写真がしっかり撮れていることが良い作品作りに繋がることを再認識、皆さん欲が出てきたのだと思います。

開催日：2月20日(水)

場所：調布文化会館(世話役・高木忠雄)

第1部：10時～12時 良い写真を撮る勉強会

各自持参の写真をプロジェクターで映写して、先生役の大石さんからコメントと写真撮影に関する基本的なアドバイスがありました。銀塩写真派の大石さんの長い経験・知識から得られるアドバイスは、気軽に記録写真を撮っていたコンデジ派の会員にも大いに役立つ情報だったと思います。

写真映写：村上、児島、海老原、福田、金井、小松
*この勉強会はこれからも続けて欲しいとの希望があり、次回も行われる予定です。

第2部：13時～16時30分 作品発表会

1) スライド

カパライ&シパダンを楽しむ 大石 和明

2) PCスライドショー

リロアンダイビングツアー 小澤ユリ子

トランバン 村上 信一

レンベ07 大隅 照子

ロタの光の交響曲 金井 達雄

3) ビデオショー

ボホール 海老原 新

モルディブ・海の人気者 高木 忠雄

トロパラよいとこ 大隅 楠夫

ショーにしても上達のコツだと思います。

会の終了後は13F展望レストランで懇親会が行われ、水中映像談義に明け暮れた1日でした。

この会は原則、写真、スライドあるいはビデオ作品を発表する人を会員として登録しています。現在では次の16名が登録しています。

銀塩・カメラ派：2名

イチデジ&コンデジ・カメラ派：2名

コンデジ・カメラ派：8名(内2名は動画も)

ビデオ派：4名

写真の撮り方では先生役の銀塩派の大石さんから、スライドショーに取り組みたいと勉強会の提案があり、4月15日に行われる事になりました。

スライドショーの先生役は福田さんや金井さんなどデジタル派です。

会場は海老原さんが世話役で、板橋区立ハイライフプラザを確保してくれました。

このように世話役が変わればんこに出てきて運営できるのは、SDCの理想とするところです。

この会はスライドショーやビデオ作品などで自分の行った事のない海やダイビングポイントの様子や魚達の情報が得られる事も、会員の刺激となっています。会場に余裕がある限り見学者も歓迎しています。興味のある方はお問合せ下さい。

参加者(15名)

005 大隅 楠夫 006 大隅 照子 062 狩野 幸繁

302 福田 孝子 310 戸塚 明夫 390 金井 達雄

423 村上 信一 449 大石 和明 457 児島慎之助

472 高木 忠雄 537 奥原 研二 544 海老原 新

609 小松 輝之 626 小澤 康弘 627 小澤ユリ子

スライドショーやビデオ作品の場合、5分から10分の間に、いかにストーリーをまとめるか、起承転結ができていると見やすくなります。

映像の構成、ソフトの効果の使い方、効果的なBGMなど他の人の作品を見ることはとても参考になります。また自分の作品に関して、どこが良かった、あそこはどうかなど他の人がどう感じたか知ることは重要です。人に見てもらうことが写真にしてもスライド



アウトドアーを楽しむ会活動報告 妙高赤倉スキー合宿

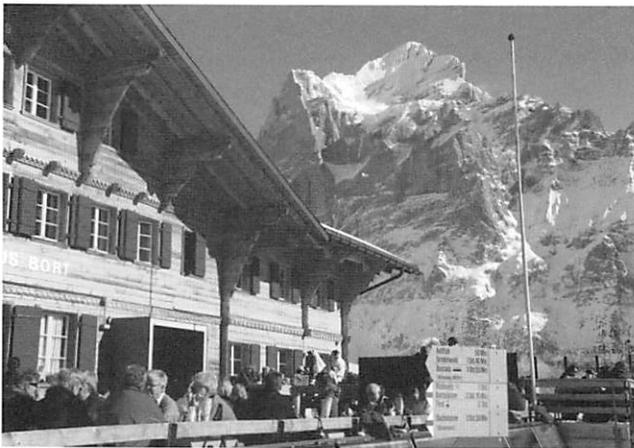
197 宇留賀 達雄

★ スキー・スキルアップ合宿

1月15日～18日、例年実施しているメンバーの狩野幸繁さん主催する海外スキーツアーが2月なので、その前にスキルアップ合宿をしようと言うことになり、妙高での3泊4日のスキー合宿を行いました。この合宿は池の平にあるナガサキロッジに宿泊し、日本のスキーデモンストラターの魁である植木毅さんが主謀するアルペンスキー学校でスキーを学ぶと言うもので、3泊4日宿泊・2食・授業料込で15,000円と言う超破格な割安料金設定です。

今回は今迄の杉の原スキー場から、赤倉スキー場に場所を移しての実施となり、新雪の深雪あり、オフピステあり、きれいに圧雪されたピステ斜面ありのバラエティに富んだ条件でのスキーで、それぞれのスキルアップに努めました。参加者は女性3名、男性5名の合計8名。

初参加の三上智津子さんは長年競技スキーをされていたとかで往年の名選手ぶりをいかんなく発揮され、華麗なスキーを披露されていました。



グリンデルワルトのスキー場からのアルプス

今年の海外スキーはスイスの「グリンデルワルト」アイガーやユングフラウなどのアルプスを目の前にし、9日間のスキーツアーを楽しみました。

アウトドアーを楽しむ会の会員募集！！

アウトドアーを楽しむ会ではゴルフ・スキー・トレッキング等気軽に楽しめるアウトドアーを催行しています。トレッキング&ハイキングは気楽な無理の無いコース選定しております。ダイビングとは違った楽しみをご一緒しませんか。入会希望の方はアウトドアーの科目(ゴルフ・山・スキー等)を明記し197宇留賀達雄迄申し込みください。

掲示板

第14回「散骨を語る会」のお知らせ

この会も14回を迎えました。

13回では「生き甲斐」をテーマ、今回は「日頃心がけている健康法」としました。あなたの健康法を披露して下さい(心身両面から)。刺激された皆さんは益々元気に生き続けるでしょう。

「そんな風ではいつになっても骨が集まらないのでは？」の声も聞こえてきますが、立派な骨を残すためにも重要かと…？

落ち着いて話が出来るように今回は会場を変えてみることにしました。個室なので気楽にやれると思います。

勿論散骨も語り合います。会員制ではないのでどなたでも参加して下さい。

日時：4月16日(水) 18時～21時頃

場所：『季膳房』 新宿区西新宿2-1-1

新宿三井ビル3階 TEL：03-3345-5341

会費：5,000円

*参加希望者は4月13日(日)までに大隅へ連絡下さい(席に限りがありますのでお早めに)。

世話役 006 大隅 照子

390 金井 達雄

ヴィンテージな会開催のご案内

食べ・飲みそして語らうコミュニケーションの会である「ヴィンテージな会」を久々に開催いたします。

今回は古希を迎えられる会員のお祝いを兼ね、会員相互の親睦を図りたいと思います。

未だSDCに馴染の無い方も新会員もSDCの方々と知り合え交流を図るのに最適集いです。是非参加をお待ちしています。

記

日時：5月8日(木) 18時～21時

会場：『季膳房』 新宿区西新宿2-1-1

新宿三井ビル3階 TEL：03-3345-5341

アクセス：JR新宿駅5分、丸の内線西新宿駅3分
都営大江戸線都庁前駅1分

会費：6,000円 定員25名

申込：メール又は携帯電話で(5月1日迄)

toki-urg529@jcom.home.ne.jp

090-3109-8221

197 宇留賀 達雄(うるが たつお)

「新年会パートⅡHPコーナー」報告

HPコーナー & 広報担当 302 福田 孝子

今回はじめての試みとしてHPコーナーを開設し、現場で投稿の実習を行いました。その成果の一部を紹介します。投稿はハンドルネームで行われていますが、数字が会員番号です。新年会の行われている時間帯に投稿されたことがよく分かると思います。

新年会 [2008/1/20/14:47] さって | 630

凄いパワーで感動しています！

メール [2008/1/20/15:6] みこ | 600

今日は新年会に来ています、とても楽しく、只今BBSの送信方法を教えて頂きました。

ココ島 [2008/1/20/15:31] あいちゃん | 419

ココ島に行ってきました

くまのみさん [2008/1/20/15:52] マリン | 660 |

始めましてマリンと申します、新年会楽しく参加させていただきました。これからはこちらにもおじゃまさせていただきます。

はじめまして [2008/1/20/15:59] ネコちゃん | 627

楽しい会でした。今年もよろしくおねがいします。

その後マスターしたあいちゃんから投稿です。ありがとうございました。

[2008/1/24/17:29] マンボーあいちゃん | 419

はじめまして、BBSに初めて投稿します。新年会パート2で役員さんの方から投稿の方法などを丁寧にご教授いただいたおかげです。

新年会とても楽しませていただきました。美味しいお料理もたっぷりで満腹状態。さらにパート2でも、嬉しい事にお料理やおつまみ、そして飲み放題。会費10,000円だけでまにあったのかと心配です。

パート2では役員さんが趣向を凝らしてくださり、楽しかったです。コンピューター音痴の私は、みなさんがBBSのお話をしていても何のことかサッパリわからず、見ることはおろか投稿するなんて考えたこともなかったのです。Wさんから私が「BBSを見たことがない」って言ったら「見たことがないんじゃないかで見れないんだろ」って言われちゃいました。その通りなのです。

パート2の会場には私にうってつけのコーナーがありました。

パソコンまで用意してあり、実際に体験させていただけて、本当にありがたかったです。教えていただけたら、できちゃいました、(o^o)これから私もBBSにどんどん参加させていただきます。

役員の皆様ご苦労さまでした。そして本当にありがとうございました。

今回の会場(アジュール竹芝)は無線LANが使えると言うことで、SDCのHPを見るだけでなくできるだけ多くの方たちに参加していただこうとBBSの使い方を講習することになりました。

初の試みでしたので心配でしたが、協力者も得て、目的を果たすことができましたことを嬉しく思っています。

Photo BBSまでは出来なかったことなど、反省点はありましたが次の機会に生かしていきたいと思えます。新年会に参加できなかった方とライブでWeb新年会ができたなら…なども思っていました、これも実現できませんでした。

これらは次の機会にして…、いつでもわからないことがあったらお問い合わせください。



私の「ヒヤリハット」

166 島田 美世子

日時 2006年11月
場所 パプアニューギニア／ロロアタ
海の状況 穏やか・透視度10～15m

慣れている日本人ガイドが急用のため、初めての現地人ガイドに代わって起きた出来事です。3つ根のあるポイントで、2つ目から3つ目の根に行こうとしていた。他のメンバーは遅れていたが、泡の確認は出来た。ガイドは後ろを振り向かず、どんどん次の根へと進んで行く。皆を待っていればよかったが、何かガイドに「皆が来ない事」を知らせようと追いかけていた自分がいた。やっとフィンを捕まえ身振りで知らせる。フィンキックの弱い私、だいぶ離れていたのと一緒に戻る元気なく、この根で待っているから「皆とここに来て」と身振りで伝えた。残圧は未だあった。深度は浅い。時間を確認し、岩につかまり待つことに……。3分間は何とか過ごせたが、皆の姿が見えず不安となり1分1分の時間が長かった。会えたときは笑顔で握手出来ホッ。

このガイドはまだ新米だったとのことで、この後はベテラン現地人ガイドに代わり楽しくダイビングを続ける事が出来た。

『アフター5での反省会』

*ガイドを迎えに行くのは良かったが、海の中はいつ何が起こるか分からない。一人で残るのは危険なので、手をつないででも一緒に戻ってくるべきだった。

*長く待ち不安になれば浮上すればよい。

*海外の場合、ベテランガイドであっても日本人ガイドのようにケアしてもらえるかどうか分からない。バディをより強く意識して助け合うことが必要だ。また初めてのガイドの場合どのようなガイドをするか、よく見極める必要がある。

新聞に掲載されたヒヤリハット例を紹介します。

絹谷幸二(画家)日経新聞2008年2月12日(夕刊)
(日本芸術院会員、東京芸大教授)

私のアトリエは海の底にもある。というのは、学生時代から楽しんできたダイビングのおかげだ。今やわが家では全員がスキューバダイビングをし、今年には元旦を小笠原で迎えた。

海の生き物の自在な形と鮮やかな色彩に見とれていると、海底からわき上がる冷たい水のかたまりや川の流れのような強い潮流に流されたりして、目に見えない恐怖を味わう。しかし浮遊感が何とも言えない。

実は一つ失敗がある。東京芸大の学生のころ、徹夜で大きな絵を描き、明け方、車を飛ばして神奈川の真鶴に潜りに行った。しかし、まだ経験不足で、「耳抜き」に失敗、真空状態となった水中マスクが強烈な吸盤となって顔面に張り付いてしまったのである。パニックになり、無理やり水面に浮上した瞬間、熱い涙がドゥーとあふれ出した。

圧力で白眼の毛細血管が全部切れて眼は真紅、眼球も飛び出さんばかりになってしまった。驚く友人たちに連れられて訪ねた老眼科医の先生が私の眼を治して下さった。おかげで絵描き生命を救われ、我が家のダイビング・インストラクターにもなれたわけである。

*教訓：絹谷さんは生年から考えるとダイビング歴40年以上のベテランダイバーである。多分そのころは今ほど系統だったスキル講習を受けていない時代だったと思います。この例では、初心者であったため耳抜きに失敗とありますが、その前に寝不足で耳抜きがやりにくい状態であったと想像されます。寝不足でダイビングする時は要注意です。

掲示板

広報よりお知らせ

毎号会員の皆さんの写真やレポートがいっぱい詰まったこの会報を、大切に整理ストック出来る会報用バインダーが出来ました。3年・12冊分を

綴じる事が出来ます。1冊1,200円。ご希望の方は広報担当または会報制作会社の賛助会員フロムライフへ直接ご連絡ください。

ダイビングは通常は人が生きられない水中で行う活動です。冒険を目的としない我々レジャーダイバーであっても、一歩間違えると命に関わる遊びです。そのためわが国でも潜水医学の専門家を中心にダイビング関係者が事故をいかに防止できるか情報交流を行っています。

私が参加したシンポジウム、セミナーから参考になりそうなことを報告します。

また昨年11月DAN Japanが主催した国際DAN会議のレポートからも参考情報を引用させていただきました。

第42回日本高気圧環境・潜水医学会学術総会



2007年11月3日 横浜シンポジア

「ダイビングの安全基準」

東京医科歯科大・山見信夫先生

学会の安全指針作成が検討されている。

中高齢者は疾病保有率が高く体力が低下している。

中高齢者に対しては日常の健康管理も含めて別項を設けて指針を作成することが望ましい。

第9回潜水医学講座小田原セミナー

2008年1月19日 小田原市民会館

「潜水事故事例から見る身体適正と健康管理」

大岩弘典(南あたま第一病院)

*事故を無くすにはダイバー自身および関係する人々の潜水医学知識の普及が重要である。

*事故にあった中高年ダイバーの多くには背景に持病(冠動脈疾患、高血圧、肥満、加齢による持久力低下、COPD)に事故誘因となったダイバーの疲弊がある。

*加齢によるスタミナ(持久力)低下や生活習慣病に伴う持病がダイビング中に予期せぬ疲弊をもたらす事故につながっている。

*ダイビング中に種々のシチュエーションが持久力の限界を超えてしまう事がある。強い波や潮の流れに抗して動きエネルギーを浪費、予期せぬヘビーワークが生じた時。

*70~80代でも安全に潜れる事実

暦齢だけでは判定できない。体のコンディションとスタミナ：運動習慣がダイビングの機敏さ、運動能力を維持できる。

*血圧がコントロールされていないダイバーは、労作や過労で不整脈、狭心症、浸水性肺水腫を発症するリスクがある。

DAN JAPAN Vol. 37より

ダン・オール(Dan アメリカ会長)

*潜水障害の発生率は1万回のダイビングにつき1回、死亡事故は百万人当たり15~20人で、アメリカにおける自動車事故の発生率と同じ位。

*死亡に至る原因は、エアー切れ、海況の急変、もともと疾患があった、運動能力が低かった、水中で発病した、器材トラブル、浮力調整ミスなどがある。

*更に、次の3点も重要である。

- 1) 初めて体験することの危険性、例えばナイトダイビング、冷水でのダイビング、ドロップオフ、新しいシステムの器材。
- 2) ダイバーの高齢化で、死亡事故に高血圧、心臓病、喫煙歴、糖尿病、アレルギー、ぜんそくなどが関わっているケースが多くなっている。
- 3) 十分に器材の使い方を理解していないため、器材に欠陥があると勘違いしているケース。

どうしたら事故を防ぐ事ができるか

- 1) スキルも身体的な限界も含め、個人の能力を超えるようなダイビングはしない。
- 2) 常に安全なダイビングを行うという姿勢で臨む。
- 3) 体調、海況によってはダイビングをやめる柔軟さを持つ。
- 4) 浅いところでも、どんな状況でも油断してはいけない。

更に具体的なアドバイスとして

- 1) 自分の能力を広げる事も、自分の能力の限界をわきまえることも同じくらい大切であるため、継続的にトレーニングを続け、経験を積む。
- 2) 基本的なスキルは勿論、緊急スキルについても反射的にスムーズに出来るくらい習得しておく。
- 3) 40歳を超えたら年に1回の身体検査を受け、自分がダイビングに適した状態なのか確認する。
- 4) ダイビング前には万が一のことを想定して、対処法をバディと話し合っておく。
- 5) バディの器材についても自分のものと同じように確認する習慣をつける。
- 6) 落ち着いてエントリーし、エントリー後も必要なものがあるかどうか確認して潜降する。

*スクーバダイビングの課題を乗り越えるのは、単に身体的な強さだけではなく、知識とスキルを効果的に生かす事が重要です。

SDCツアー計画一覧表I (2008年)

No	ポイント名	日程	会員番号・リーダー名	旅行社他	概算費用	空き	ツアー概要
801	トゥバタハ・クルーズ	4/10~4/16	508 安積 信	エアーワールド	22万円	C	サザンクルーズ号をチャーター。日本人の添乗員とインストラクター同行。全食事付。4日間12DV(希望により同一料金で16DV迄可)。フリー潜行と中性浮力は必須。サブリーダー:434百瀬由美子。
814	リロアン フィリピン	4/13~4/18	358 渡辺靖明	ワールドツアープランナーズ	10万円	C	マリンビレッジに宿泊。のんびり、ゆったりダイブを楽しむ。初心者の方にもお勧めです。食事は3食付。9DV込み。
828	ジープ島&トラック島 (ミクロネシア)	4/20~4/28	440 石川 勝	イー・アイ・エスジャパン	29万円	C	トラック島のブルーラグーンリゾートをベースに大自然を満喫。11DV。成田発8日間。コンチネンタルAir
832	ミリ・ポルネオ島 ダイブ、ジャズ& トレッキング	5/8~5/13	505 永吉拓也	プラネット・ワイ	20万円	B	マクロ天国、ミリのベストシーズン。国際ジャズ祭り2夜有。チケット代込+神秘のニア洞窟トレッキング。全個室料金(2名部屋は1.2万引)、全食付。永吉同行、空港税・燃油別(3万程度)
813	フィジー・ ビチレブ島	5/12~5/19	457 児島慎之介	プラネット・ワイ	30万円	C	ビチレブ島・ワーイックホテル。2日間ポート貸切6DV・2日間混載4DV。8~10名全食事付・成田燃油サーチャージ・空港使用料・フィジー空港税込み。中性浮力・フリー潜行・ダイコン自己管理必須。エアーパシフィック航空・成田より直行便。荷物30kgまでOK。
805 806 807	カオハガン島 フィリピン	4/11~4/16 5/23~5/28 6/13~6/18	505 永吉拓也	プラネット・ワイ	16万円	A	何もなくて豊かな島・カオハガン島滞在・9ポートDV・全食付。初級者&マクロ撮影派の2組分け。東京・名古屋・大阪・福岡発可 暦18年の日本人ガイド有。永吉同行・空港税等別。
811	スル海クルージング (サンミゲル&トゥバタハ)	5/13~5/20	393 高橋 馨	パシフィッククルーズ旅行企画	25万円	C	60名乗りサザンクルーズをチャーター。全食・全飲物付。1日4ダイブ以上。サンミゲルでは、捕魚も可能。8人部屋を2~3名で使用。サブリーダー:197 宇留賀達雄
	SDC総会・懇親会	6月1日(日)		SDC総務	8,000円		恵比寿イーストギャラリー
823	ベストシーズン 八丈島	6/9~6/11	026 良縁寺悦子	ぶちアイランド(金子)	77,100円	A	ゆうぜん玉ベストシーズン。4ポートダイブ。OPあり。延泊前泊可。ホテル選べます。往復は飛行機。
829	安良里ダイブ& ホテル狩り	6/2~6/3	172 島尾愛子	安良里ダイビングサービスTATSUMI	4万円	A	4ポート、1泊2食・ランチ、ドライ又は6半要。中性浮力必須。前泊・後泊可。現地集合9:30、修善寺駅出迎え(8:40)
836	アニラオ (フィリピン)	6/24~6/29	440 石川 勝	エアーワールド	14万円	A	全食事・ダイブ8本付。空港使用料、燃油代等含む。
812	紅海クルーズ	6/28~7/7	005 大隅楠夫	プラネット・ワイ	30万円	C	クルーズ船4泊、カイロ&ルクソール観光付ゆったりスケジュール。ボートは紅海で1番のHYATTをチャーター、中性浮力、ダイコン管理。
809	石垣島	6/25~6/30	537 奥原研二	アクアガーデン	14万円	B	8DV・全食事付・8名まで受付ます。午前1本・午後1本・3本目はオプション・宿泊・DVショップはアクアガーデン・午後便石垣直行で楽々ツアー。初心者50本前後の方、4名限定可。
839 840 841	奄美大島	6/2~6/6 9/1~9/5 10/6~10/10	505 永吉拓也	プラネット・ワイ	12~15万円	A	DVは潜った分だけ現地払い(2DVで1.3万)。悪天・体調不良時はDV代不要。無理せずゆっくり奄美時間を体験して下さい。全食付・島内観光付。費用は出発日、参加人数によります。永吉同行。

No	ポイント名	日程	会員番号・リーダー名	旅行社他	概算費用	空き
ツアー概要						
824	西表島	7/3~7/8	603 氏家友枝	PIT	16万円	C
		ダイビングチーム「うなりざき」利用。5泊6日、延泊可。さがり花島内観OP。ゆっくりダイビング・エキサイティングダイブ、お好きな船へどうぞ！サブリーダー：良縁寺悦子				
833	アオリイカの産卵観察	7/22~7/23	062 狩野幸繁	ナッソー	4万円	A
		富戸・海洋公園、4ビーチダイブ。エクシブ伊豆宿泊、1泊2日。現地集合解散、交通費別。初心者歓迎				
827	マブール・エコツアー	7/21~7/28	247 長野恭子	ジスコボルネオ旅行社	23万円	C
8日間、内1日はサンゴの植付と海中でのゴミ拾い。全食事付、1日3DV。10~12名まで。						
834	サイパン	7/20~7/25	412 青木太器一	JTBマーメイドサイパン	17万円	A
		6ボートDV&3ビーチDV。成田発着。募集8名。食事別(1万程度)				
831	タイ・タオ島クルーズ	8/2~8/8	542 瀧 正明	ワールドツアープランナーズ	20万円	C
		全デラックスツイン2X4室確保のため、8名の限定となります。全食事付、9DV込。成田・関空発。サブリーダー：406立木博信				
820	四国・徳島牟岐DIVE&阿波踊り	8/9~8/13	306 宮本節子	リーダー手配	9万円	A
		黒潮の恵を受けた四国牟岐大島海域でのダイブ・地元民宿泊。全国から集まり、熱狂的な踊り興じる阿波踊り、体験してみませんか！ホテル確保。				
830	安良里ダイブ&土肥花火	8/19~8/20	172 島尾愛子	安良里ダイビングサービスTATSUMI	4万円	A
		4ボート、1泊2食・ランチ、5mmでOK。中性浮力必須。前泊・後泊可。現地集合9:30、修善寺駅出迎え(8:40)				
825	柏島(高知県)	9/1~9/5	506 国師三起子	パラディ	9万円	A
		4日間ボートダイブ・11本・3食付。中性浮力・フリー潜行(ロープはあり)・ダイコン自己管理必須(ポイントは深め)。マクロ中心。10~12名可。参加希望者はリーダーに問合せ。交通費は別。				
818	ニタリに逢えるかも伊豆大島	9/16~9/19	062 狩野幸繁	グローバルスポーツ	7万円	A
		3泊4日・ポイント「秋の浜」主体で8ビーチダイブ。民宿万立荘宿泊。現地集合解散、交通費別。初心者歓迎				
821	ボルネオマタキング島	9/12~9/18	306 宮本節子	ユーツアー	18万円	B
		関空・成田発着。マレーシア航空orキャセイ航空。7~8DV・無制限DV付、リゾート滞在中全食事付。リゾートライフも楽しめます。OPでシパダンへのデイトリップも可。				
842	台湾・緑島	9/22~9/27	505 永吉拓也	プラネット・ワイ	26万円	A
		全9DV・全食・全個室利用。抜群の透明度！空港税等別。永吉同行。				
835	串本大島	9/27~9/28	508 安積 信	リゾート大島	3万円	A
		南紀の黒潮料理、露天風呂とダイビング。3ボート。1泊3食。串本駅12:30集合。サブリーダー：635 木脇 学				
819	テニス&ダイブ	10/14~10/16	062 狩野幸繁	ナッソー	6万円	A
		2泊3日、初日午後半日テニス、2日目ビーチダイブ2本、3日目午前中半日テニス宿泊エクシブ伊豆、DVは海洋公園または富戸、交通費は含まず。テニス愛好者歓迎。初心者参加可能				
837	沖縄・サンゴ植え付け&ファンダイブ	10/15~10/19	648 江藤征雄	交通は各自手配	7万円	A
		1宿泊那覇・ホテルプライオン(シングル)4泊5日朝食付・6ボートDVサンゴ苗1本代(希望により増加は可能)往復交通費・昼食&夕食は含まず・那覇市内で親睦会を開催。DショップSEA MAX主催美ら海振興会				
843	カオハガン島フィリピン	10/24~10/29	505 永吉拓也	プラネット・ワイ	17万円	A
		全9DV・全食付。※ダイビングよりもこの島の滞在が主目的。興味のある方なら非常に楽しめます。永吉同行。空港税等別。				
838	ボホール(フィリピン)	11/7~11/12	406 立木博信	エアワールド	11万円	A
		パングラオ島南、カピラオ、バリカサグ各2ダイブの6ダイブ、4日目はフリー(オプションでダイビングも可能、また連日3ダイブ目はオプション)スキルアップツアーなので初心者も参加可。アドバンス取得希望者は立木宛ご相談下さい。				

SDCツアー計画一覧表Ⅱ(2009年)

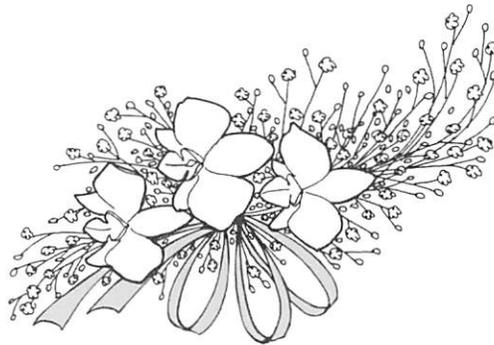
No	ポイント名	日程	会員番号・リーダー名	旅行社他	概算費用	空き
	SDC新年会	1月18日(日)		ツアー概要 SDC総務	1万円	
		アジュール竹芝				
901	モルジブクルーズ	4/4~4/11	508 安積 信	プラネット・ワイ	23万円	A
		ブルーシャーク2号をチャーター。AOW以上で200本以上の方。費用は15名以上参加の場合の金額です。全食事付13DV。燃油サーチャージ別途。				

* 計画表はSDC会員の為のクラブ公認のツアーです。

* 空き状況の確認及び詳細はツアーリーダーにお問い合わせ下さい。

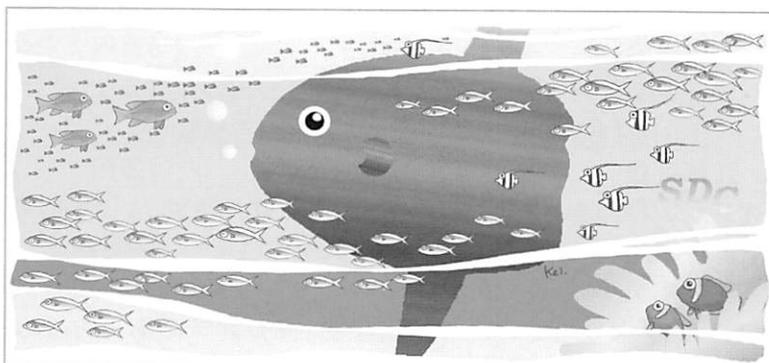
* 空き状況 ; A: 空きあり B: 少し空きあり C: キャンセル待ち。

2008年3月現在



マイクロファイバー オリジナルプリントタオルを作ろう!!!

なんと普通のタオルの約5倍の吸水力
吸水スピード3倍、乾燥スピード7倍



SDC会員 今澤恵子さんデザインのスポーツタオルも
好評販売中。名入れも可能です。

定価 ¥2,500 送料別途

SDC会員割引あり



作り方は簡単、お気に入りの写真を
送るだけ。

イラストや文字も入れられます。

- スポーツタオル/400×900mm
- ハンドタオル/350×350mm
- ハンドタオルS/200×200mm



20cm角ハンドタオルS
色：紺、黄の2色

定価 ¥1,000
送料別途

FROMLife

有限会社フロムライフ

〒104-0033 東京都中央区新川2-2-1-1013

☎03-3523-1577

掲示板

SDC全国の集い

全国から参加するベテラン会員および新会員と交流を深め、知り合いになれる絶好の機会です。
多くの会員の参加をお待ちしております。

2008年 総会・懇親会

日時：2008年6月1日(日) 12時～16時30分

*11時からビデオ・スライド上映会を予定

*パートIIで海の情報交換の場を予定

会費：8,000円

会場：恵比寿イーストギャラリー

■JR山手線・埼京線「恵比寿駅」西口より徒歩2分

■東京メトロ日比谷線「恵比寿駅」2番出口より徒歩1分

2009年 新年会

日時：2009年1月18日(日) 12時～16時

*SDC創立15周年記念の会を予定

*パートIIで海の情報交換の場を予定

会費：10,000円

会場：ホテルアジュール竹芝

イーストギャラリー会場の地図



各種同好会世話役一覧

- フリッパーの会
277 堀田 恭正、026 良縁寺悦子
357 佐藤 道子、541 関谷 恭正
- ヴィンテージな会
197 宇留賀達雄
026 良縁寺悦子、486 埴 恵美子
- 散骨を語る会
006 大隅 照子、390 金井 達雄
- 関東・ハイキングの会
056 石田 邦明、018 坂東 正朗
- アウトドアを楽しむ会
197 宇留賀達雄
- ジャズライブを楽しむ会
370 千野 正勝
- 水中映像を楽しむ会
005 大隅 楠夫、449 大石 和明
390 金井 達雄
- 皇居ウォーキング&ジョギングの会
542 瀧 正明、514 安部 智枝
- 呑和会
306 宮本 節子
- 関西・ハイキングの会
474 山田智恵美

Diving-Point Mapを作りました。制作の現場から

SDC会報史上初めての試みと思うのですが今号は地図の別冊付録付きです。別冊付録とはいささか大袈裟ですが。

きっかけになったのはHPの掲示板に「地図が欲しい」と言う書き込みです。過去にもツアーの場所やコースが解らないので地図が欲しいとの希望があったそうです。今回の地図制作により本文内にも地図上で大まかな場所を紹介できるようになりました。

新しいリゾートやダイビングポイントも数多く開発されオープンしています。ダイバーが集まると、私自身も聞いた事のないポイントや地名もいっぱい出て来ます。また地図を作り始めて気が付いたのですが、良く聞くポイントは狭い範囲に集中していてもまだまだ紹介されて無い海の方がいっぱいです。会員皆さんの活動の場を広げて行きましょう。

この地図は皆さんで作る地図です。解り易くする為にポイント名は英語表記をさけ、カタカナ表記にしました。自分で訪れた所を地図にマークして行くのも面白いですが、ポイント記載希望の連絡をどんどんください。正確な場所は制作現場で確認、地図に載せて行きたいと思えます。

来年はポイント名がもっと増える事を楽しみにしています。

賛助会員通信

アクアガーデン

石垣島のアクアガーデンです。
すっかり春めいて暖かい日が続く今日この頃だと思いますが、石垣島は既に20℃を超える日が続いており一足早い夏を感じております。
水温も例年どおりに順調に上がってきており4月で24℃前後、5月～6月にかけては25～26℃前後快適に潜ることが出来るようになります。
春先は透明度が良くコブシメの産卵やサンゴの産卵(今年は5月17日～19日予定)等のイベントがあるので面白い時期です。
この機会に是非石垣島に足を伸ばされてはいかがでしょうか！
皆様のお越しをお待ちしております。
<http://www.aqua-garden.net/>
担当 社領 洋平
TEL : 0980-89-2152 FAX : 0980-89-2158
E-mail : info@aqua-garden.net

エアワールド(株)

<http://www.airworld.co.jp/>
今春もダイビングツアーを含め海外旅行ラインアップさせて頂きました。
ダイビングツアーは、パラオ・フィリピン(ボホール・ドゥマゲッティ・セブ・アニラオ・ボラカイ)サイパン・グアム・ロタ・チュークなどご用意いたしております。
ゴールデンウィークも日本航空利用パラオチャーター下記設定御座います。成田4月27日・5月2日発、中部4月28日発、関西5月1日発。また、6月限定パラオキャンペーン実施しております。詳細は、担当者へお気軽にお尋ね下さい。
パッケージツアーは弊社ホームページをご覧ください

ませ。その時期に旬なツアーや出発日限定商品など御座います。

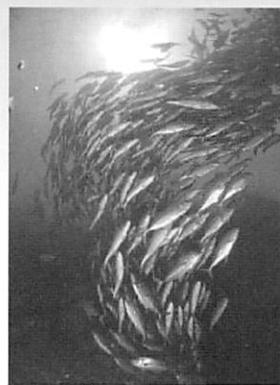
また、その他、方面も出来る限りのご要望に添えたいと思っておりますので、お問合せお待ちしております。
本社 TEL : 06-6947-1065 FAX : 06-6947-1169
担当 池永 E-mail : ikenaga@airworld.co.jp
東京支店 TEL : 03-5457-3373 FAX : 03-5457-3374
担当 市川 E-mail : ichikawa@airworld.co.jp

デルフィス・ダイビングセンター

SDCの皆さんこんにちは。いかがお過ごしでしょうか？これからモルディブでは乾期から雨期に移り変わる季節となります。この季節パラダイスアイランド周辺では…そうなんです！マンタのやって来る季節でもあるのです。デルフィス・ダイビングセンターはモルディブのマンタ・リサーチプロジェクトに協力しています。これはモルディブに棲息しているマンタの個体識別や観察をすることにより、まだはつきりとは知られていないマンタの生態や行動をもっと知ろう！という試みです。皆さんに協力していただくのはとても簡単で、パラダイス周辺に棲息しているマンタ(特にランカン・ベルでの)の腹部を中心にした写真を数多く撮っていただき、その写真をダイビングセンターに提供していただくだけなのです。モルディブでのマンタとの思い出として、是非皆さんもこのプロジェクトにご協力ください！マンタの事をもう少し知るだけで、マンタをもっと身近に感じるかもしれませんよ。

津金千尋 Promotion Manager Asia
Delphis Diving Centers, Paradise Island,
Fun Island, Royal Island, Maldives
www.delphisdiving.com

きっとりこになるパラオスポーツ号ダイブクルーズ



一泊からOK! ダイバーが選ぶトラベル大賞
7年連続一位受賞!

PALAU SPORT
Sport Tours
680-488-1120
FAX 680-488-1125 <http://www.sporttours.co.jp>

日本でのお問合せ **03-6276-0550** E-mail : divecruise@sporttours.co.jp

(有)フロムライフ (38頁広告参照)

「胸に赤いバラ」よりは目立ちませんが、SDCのロゴマークの入った革製ネームタグを製作、販売しています。このタグを利用させていただいてる会員の方から先日面白いお話をお聞きしました。その方、以前は集合場所に集まる時にこの会報を胸の前に判るように持って集合していたそうです。

ホテルでの新年会や総会でお会いした方でも、いざ海行きとなればスタイルも違います。まして遠方で普段会う機会の少ない方や始めてお会いする方も多いいはず。それはそれは確認しにくいでしょう。でもこのタグを利用してから一目で判るようになり便利になったそうです。思わぬところで役立っていました。

当初は少しでもSDCを盛り上げ、タグの中に名前だけで無く滞在先のホテルや日程表を入れておく事で荷物の迷子を防ぎ行方不明になる事が無いように考えました。でもこんな使い方もあったのですね。

皆様のご利用をお待ちいたします。

黒革に赤のSDCロゴマーク
1個900円



郵便にて即納可能です。

〒104-0033 東京都中央区新川2丁目2-1
いづみハイツ茅場町1013号
TEL : 03-3523-1577 FAX : 03-3523-1578
E-mail : FZT03127@nifty.ne.jp
有限会社フロムライフ 藤形誠一

(有)プラネット・ワイ

<http://www.planet-y-cr.biz>

カオハガン島(フィリピン)、緑島(台湾)、ミリ(ボルネオ島)、奄美大島、伊豆&三浦スキルアップのダイブツアーは今後定期的に行います。

またケニアサファリ&ダイブやシロナガスクジラなどの特異ツアーもシーズンにあわせて企画。ツアーリーダーも応援します。

近畿日本ツーリスト7%引! JAL&ANAツアー有担当 永吉拓也(携帯 090-9968-5710)
TEL : 045-333-4200 FAX : 045-333-4210
E-mail : nagayoshi@b01.itscom.net

その他の賛助会員

Good Dive Shop

<http://www.boholgood.com/>
フィリピン・ボホールダイビングショップ
代表 神田真児
E-mail : shinjik@mozcom.com

(株)P. I. T

<http://www.pit-diving.com>
ダイビングショップ&ツアーデスク
ダイビング部門 : 雨尾徹
TEL : 03-3466-6482
E-mail : diving@pit-diving.com
旅行部門 : 松山中
TEL : 03-3466-6489
E-mail : travel@pit-diving.com

ぷちアイランド

<http://home4.highway.ne.jp/p-island>
主に八丈島で営業するダイビングサービス
代表 金子弘之
TEL & FAX : 03-3495-7015
E-mail : 品川 petit@highway.ne.jp
八丈島 petit-island@nifty.com
携帯電話 090-3409-8954

マリン/大阪ダイビングカレッジ

<http://www.marine.jp.com>
大阪のダイビングスクール&ショップ
全国最大級規模のダイビングプール所有
代表取締役 山本 進
大阪市中央区玉造1-21-6
TEL : 06-6191-6333 FAX : 06-6191-6330
E-mail : marine@alex.ac

アドミナル(株) (43頁広告参照)

<http://home.att.ne.jp/blue/sandwave/index.htm/>
ダイビング用品、水中写真器材販売店
☆ウエット&ドライスーツ(パールピンク)
店長 伊東ひとみ TEL : 03-3345-8790
☆器材(サンドウエーブ)
店長 近藤幸也 TEL : 03-3345-0201
☆水中カメラ&ビデオ(アンサー)
店長 野本 実 TEL : 03-3345-0200

コスモステクノ・コーポレーション(株)

コスモストレック (25頁広告参照)

国内・海外旅行の格安チケット販売

JR券、航空券、ツアー等

担当 小山、安藤

TEL : 03-5702-9071 FAX : 03-5498-3963

E-mail : trek@cosmos-techno.co.jp

安良里ダイビングサービスTATSUMI

<http://www.izu.co.jp/~arari>

西伊豆安良里のダイビングサービス

静岡県賀茂郡西伊豆町安良里111-13

代表取締役 高木辰元

TEL & FAX : 0558-56-0703

E-mail : arari@izu.co.jp

(有)ダイビングベル

<http://www.diving-bell.com>

レギュレーター・オーバーホールやスーツ製造修理をはじめとした各種サービス

代表取締役 鈴木 栄

静岡市清水区清開2-1-3

TEL : 054-336-4740 FAX : 054-336-4741

E-mail : diving-bell@za.tnc.ne.jp

(株)ワールドツアープランナーズ

<http://www.wtp.co.jp/renewal/index.htm>

海外のダイビングツアー専門旅行会社。

東京都港区浜松町2丁目2番3号 磯山ビル5F

TEL : 03-5425-7711 FAX : 03-5425-7713

SDC担当 遠藤 光衛 info@wtp.co.jp

新賛助会員

(株)ユー・ツアー・サービス

<http://www.u-tour.jp/>

ボルネオ、メナド、レンベを中心としたダイビング、エコツアーの専門会社です。その他にも取扱エリアを順次開拓し、魅力あるエリアをご紹介します。

名古屋市東区泉1-17-38 リバーパーク泉2F

TEL : 052-963-9500 FAX : 052-963-9501

SDC担当 村瀬慶美 tabikikaku@u-tour.jp

さうすぽいんとダイビングサービス

<http://www4.ocn.ne.jp/~south-p/>

石垣島川平地元出身オーナーを中心にスタッフ一同アットホームなお店作りをいたしております。お店やダイビング船もシニアに利用しやすいように作りました。

代表取締役 高嶺 守

〒907-0453 沖縄県石垣市川平915-1

TEL : 0980-88-2277 FAX : 88-2661

E-mail : south-p@wonder.ocn.ne.jp

OPEN WATER

<http://www.open-water.jp/>

神奈川県小田原のダイビングスクール&ショップ
安心・安全にDIVE出来るスキルアップは、当店の
“ホッとスキルDIVE”にてお任せ下さい♪

代表 富田茂雄

神奈川県小田原市浜町2-6-25

TEL : 0465-23-0037

FAX : 0465-46-7004

E-mail : o-w@open-water.jp

シニアダイバーの心得7か条

(山見信夫 DAN JAPAN 31号より引用)

- 1) 定期的に健康診断を受けましょう
- 2) 自分がつんだトレーニング以上のダイビングに挑戦しない
- 3) 体力の温存も大事(エキジットまで余力を残す)
- 4) 潜る前に必ず準備体操をしましょう
- 5) 諦める勇気を持つこと(器材、体調、天候、海況、スキルなど不安があったら見送る)
- 6) 基礎体力を付けることも忘れてはいけません
- 7) 決して1人で潜らないこと、あるいは水中で1人きりになるようなダイビングはしないこと

会報投稿原稿に関して

次号38号の編集長は西村さんをお願いします。

原稿は、6月10日までに編集担当(378西村麻美、302福田孝子)宛に、出来るだけメールで投稿をお願いします。

原稿字数の目安は、半頁が900字、写真を1枚入れると600字くらいです。ツアーレポートは2頁を標準としています。

デジカメ写真をメールに添付する場合、画質をあまり落とさず送って下さい(35号31頁「デジタル写真整理と投稿に関して」を参照して下さい)。

ダイビング用品販売店 サンドウエーブ

〒160-0023
東京都新宿区西新宿1-16-10小勝ビル
地下1階、2階、3階



このビルです

営業時間

平日 ひる12時からよる8時まで

日祭日 ひる12時からよる7時まで

定休日 水曜日 & 第2木曜日

※カメラコーナーは13時30分からの営業となります



WARP MINI 完成♪ WARP MINI 完成♪

1階は
カメラ&パーツコーナー

水中撮影器材専門店
アンサー

1本から100万円まで豊富な在庫
もそろえています。
カメラマンならではの確かな
サービスも併用です
お店お待ちしております



アンサー

電話 03-3345-0200

メール umi@answer-online.com

2階は
小物&器材&旅行バッグ

ダイビング用品
サンドウエーブ

小物から、3点セット、重宝材、
コンピューターなど商品点数多数!
探し物がきっと見つかる
人気のフルフットフィンやブーツの
種類も豊富です
ご来店をお待ちしております



サンドウエーブ

電話 03-3345-0201

メール sandwave@tkb.att.ne.jp

B1階は
スーツ、ウエアコーナー

ウエーブとダイブエーブ
パールピンク

体に合ったスーツがなくて困っている方!
今まで着ているスーツに不満がある方!
あなたに合ったスーツを捜します
何でも気軽に相談して下さい
必ずならおまかせ下さい



パールピンク

電話 03-3345-8790

メール pinkmail@zab.att.ne.jp

↓お楽しみチケット

1. 安い得価格より更に値引きします下記商品券を切り取ってご持参ください。特典付 有効期限あり

5%割引券

現金のみの適用とさせていただきます
一部割引除外品もございます2008年3月30日まで

サンドウエーブ専用

引換券

5,000円以上のお買い上げで
豊り止め1個プレゼント!

サンドウエーブ専用

引換券

5,000円以上のお買い上げで
豊り止め1個プレゼント!

サンドウエーブ専用

オーバーホール割引券

本誌で、レギュラー、オトナの
オーバーホール工賃を通常13,800円のところ
8,800円とさせていただきます(1台1回限り)

サンドウエーブ専用

5%割引券

現金のみの適用とさせていただきます
一部割引除外品もございます2008年3月30日まで

サンドウエーブ専用

5%割引券

現金のみの適用とさせていただきます
一部割引除外品もございます2008年3月30日まで

サンドウエーブ専用

5%割引券

現金のみの適用とさせていただきます
一部割引除外品もございます2008年3月30日まで

サンドウエーブ専用

ウエットスーツ5%割引券

現金のみの適用とさせていただきます
一部割引除外品もございます
パールピンク専用

- 1 新年会報告(瀧 正明、大隅楠夫)
- 2 - 3 新年会に参加して(内山 敬、齋藤昭子、佐竹綾子、藤本広子、江藤征雄)
- 4 - 5 新年会欠席者の声
- 6 - 7 リロアン(No. 732)(河原智怡、立木博信)
- 8 - 9 ボラカイ(No. 808)(近藤秀子、宮本節子)
- 10 冬の伊豆みてきました(No. 822)(平野淑子)
- 11 連載 伊豆・富戸だより(4)(大脇美都子)
- 12 - 13 パラオでスキルアップ(No. 810)
(小杉礼子、大隅楠夫、秋野 大)
- 14 - 15 スミランクルーズ(No. 826)(吉川富美子)
- 16 ボホールツアー(No. 802)(立木博信)
- 17 ボホール便り(富田恭子)
- 18 連載(3)ダイビングをしながら世界の海を潜りめぐる
「世界一周の旅」(今枝淳平)
- 19 連載(3)海に魅せられて(小村昌三)
- 20 - 21 カパライ&シパダンを楽しみ(大石和明)
- 22 キリシタンの島(日野三郎)
- 23 モルジブ、ダイビングサファリ(山本伸子)
- 24 コスメル、セノーテ(湯下 晃)
ガラパゴス(竹内千草)
- 25 リロアン(大隅照子)、広告(コスモストレック)
- 26 箕面の紅葉ハイキング(久保暁美、宮本節子)
- 27 呑和会・第15回(宮本節子)
- 28 フリップパーの会(堀田恭正)
- 29 初フルマラソンを走ったことから
学んだこと(瀧 正明)
- 30 ジャズライブを楽しむ会(村上あい子)
- 31 水中映像を楽しむ会(大隅楠夫)
- 32 アウトドア活動報告(宇留賀達雄)、掲示板
- 33 新年会パートIIHPコーナー(福田孝子)
- 34 私のヒヤリハット(島田美世子)
- 35 海の情報交換室(大隅楠夫)
- 36 - 38 SDCツアー計画一覧表
- 38 広告(フロムライブ)
- 39 掲示板、制作の現場から
- 40 - 42 賛助会員通信
- 43 広告(サンドウェーブ)
- 44 編集雑感

今回は原稿と一緒に会報に掲載する写真について書こうと思います。今まで原稿には参加者の集合写真を掲載することが多かったのですが、無意識に集合写真を撮って送れば良いという常識のようなものが出来てしまっているようです。会報をもっと面白いものにするために、常識にとらわれず面白いと思った写真を載せませんか？皆で常識を変えましょう！集合写真もちよっと撮り方を変えてみてください。いろいろな写真をお待ちしています。

(302 福田孝子)

編集をお手伝いして

なかなかお手伝いしたというところまで自信を持って言えるほどのお手伝いをしていませんので、感想を書くのも恥ずかしいような状態ですが、編集長を始め、会報に携わっているかたがたの大変さが、少しずつわかってきたような気がしました。

会員のための大切な情報源である会報を、もっともっと良くするために、何らかの形でみんながちょっとずつでも参加できるようになるといいなと思います。

(603 氏家友枝)

会報とホームページはSDC全会員が参加できる交流の場です。

会報35号、36号でお願いした個人グループツアー情報が随分と寄せられるようになりました。SDCならではのポイント情報が蓄積されるのが楽しみです。

ホームページに関しては、新年会のパートIIで入門編のコーナーがあり、そこで練習して書き込みが出来るようになった会員が増えました。多くの会員からの書き込みを期待しています。

そのホームページに希望が寄せられたことから、今号の特別付録Diving-Point Mapが生まれました。

人は高齢になるほどコミュニケーションの場が大変重要です。SDCではダイビングツアーや各種懇親会における直接会話に加えて、会員とのメール交信、ホームページへの書き込み、会報への投稿と多くの機会があります。大いに活用して下さい。

(005 大隅楠夫)

SDC新年会がMD誌に掲載

マリンダイビング3月号のかわら版(241頁)に、日本シニアダイバーズクラブ新年会の取材レポートが集合写真入りで掲載されました。

新会員紹介

2009年1月 No. 40 別冊

紹介内容

- ①会員番号・氏名 ②住所・電話・E-mail
- ③生年月日 ④経験本数 ⑤年数 ⑥ランク
- ⑦入会動機 ⑧好きなダイビングポイント
- ⑨ダイビング以外の趣味 ⑩コメント

①693 高井 公子(たかい きみこ)
②〒344-0115 埼玉県春日部市米島261-137
TEL & FAX 048-746-8523
E-mail : hiwave@jp.bigplanet.com

③1943.5.13 ④94
⑤4年 ⑥0W
⑦友人に誘われて
(石川様)。
⑧沖縄・久米島・ケラマ、
ジープ島
⑨テニス、陶芸、花、
食べる事
⑩スポーツクラブでライセンスを取り、その会員の
方達としかダイビングに行っていなかった私に、石川
さんが「いろいろ沢山の方々と一緒にいる方がスキ
ルアップになるよ」とSDCにさそって下さって入
会を希望しました。楽しいダイビングが願いです。
どうぞよろしく願いいたします。



①694 堀井 紀子(ほりい のりこ)
②〒560-0003 大阪府豊中市東豊中町2-12-1-903
TEL & FAX 06-6848-2896
E-mail : norihorii@nifty.com

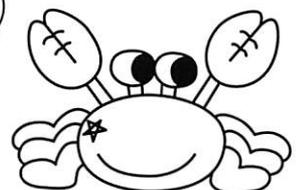
③1940.2.19 ④268
⑤9年 ⑥AOW
⑦現在ショップ会員ですが、
休日を挟んでのツアー日
程では何かと気忙しくて、
のんびり、ゆったり平日
ダイブを楽しみたい
⑧阿嘉島
⑨サイクリング(輪行)
⑩ダイバーである娘夫婦の勧めでライセンスを取得
した1~2年は、がらがん潜っていましたが、今は、
海が恋しくなれば出かけるリゾートダイバーです。
?歳になればドロップアウトと決めていたのですが、
先延ばしにしています。



住所、アドレス変更

030 杉本 信也	新アドレス	senior-con.sugi@s5.dion.ne.jp
549 田川 志智郎	新住所	〒161-0035 新宿区中井2-1-1
515 阿部 秀行	新アドレス	abe.hideyuki@agate.plala.or.jp

個人情報の保護に
充分注意して下さい。



①695 横塚 光男(よこつか みつお)
②〒329-3152 栃木県那須郡市島方661-9
TEL 0287-65-1778
E-mail : yokotsuka@rose.plala.or.jp

- ③1947. 8. 7 ④23
⑤2年 ⑥OW
⑦雑誌で存在を知り、「シニア」の冠名に親近感を持ちました
⑧西伊豆・雲見
⑨ゴルフ



⑩海なし県の栃木で生まれ、育ち、そして定年を迎えた団塊世代の一人です。かねてから憧れていた海中の世界を体験したくてOWの資格を取りましたが、周りに仲間がいませんので貴会にお世話になりました。まだ初心者ですが、どうぞよろしくお願いします。

①696 角田 章男(かくた あきお)
②〒265-0066 千葉市若葉区多部田町756-40
TEL & FAX 043-228-2926
E-mail : hebodaiver@yahoo.co.jp

- ③1951. 3. 20 ④1, 512
⑤36年 ⑥DM
⑦知人(SDC会員)の紹介で。
⑧セブ島近辺・ボホール島(アロナビーチ)、マラパスクア島、モアルボアル。
⑨読書、映画



⑩最近は一人旅が多く皆さんとダイビングが出来れば幸いです。本数は1,500本ですが年間42本程で多くはないです。セブ島近辺は30代から行っております。初海外のダイビングはパスポートを持って沖縄に行き慶良間で潜りました。これからも宜しくお願いします。

①697 山内 俊一(やまうち しゅんいち)
②〒168-0081 杉並区宮前1-4-11
TEL & FAX 03-3334-0634
E-mail : shunichi.yamauchi@gmail.com

- ③1942. 4. 29 ④617
⑤7年 ⑥MSD
⑦できるだけ多くの方々と一緒にツアーやイベントで一緒にしたいと思っています
⑧大島・秋の浜。



⑨カメラ、ゴルフ、旅行等
⑩還暦の年に始めたダイビングですが、それ以来全くのめり込んでしまい、ほぼ毎週のように潜っています。カメラが趣味でダイビング中の撮影は我を忘れてしまいます。又多くの仲間と一緒にダイビングを楽しむことが最高の時間となっています。是非皆様と一緒に楽しいダイビングが出来ればと思っています。

新会員紹介

2008年4月 No. 37 別冊

紹介内容

- ①会員番号・氏名 ②住所・電話・E-mail
- ③生年月日 ④経験本数 ⑤年数 ⑥ランク
- ⑦入会動機 ⑧好きなポイント
- ⑨ダイビング以外の趣味 ⑩コメント

①672 香村 文泰(こうむら ふみやす)
②〒299-0201 千葉県袖ヶ浦市川原井577-2
TEL & FAX 0438-75-2912
E-mail : kohmura@amber.plala.or.jp

③1945.10.10 ④50
⑤1年 ⑥0W
⑦ぜひ外国で潜ってみたい
(セブ島方面他)。30代の頃
地元千葉のクラブで2年間
経験があったが、転勤族の
ため地元ダイバーとの交流
が続かなかった。



ぜひお仲間に入れていただきたい。
⑧伊豆地方。 ⑨パソコン、写真。
⑩自衛隊のヘリコプターパイロットとしていわゆる
転勤族の生活を30年以上続けてまいりました。その間、
南極観測協力として2回南極に行きました。また救難飛
行隊員として硫黄島に約1年半勤務し南国の海を経験し
ました。これからはあこがれの外国のすばらしい海を
潜ってみたいと思います。ぜひお仲間にとおもいます。

①673 尾谷 幸男(おたに ゆきお)
②〒653-0875 神戸市長田区丸山町1丁目10-1
TEL 078-641-3405 FAX 078-642-3711
E-mail : sensuisi2005@yahoo.co.jp

③1955.6.28 ④530
⑤5.5年 ⑥DM
⑦大阪の立木さんに誘わ
れて。活動の素晴らしさに
魅せられて。
⑧フィリピン・アポ島サン
クチュアリ、パラオ・ブルー
コーナー



⑨音楽、お酒、ゴルフ
⑩海と旅とお酒が大好きなダイバーです。ボホールで
立木さんから誘われました。よろしくお願ひします。



①674 内芝 範子(うちしば のりこ)
②〒337-0052 さいたま市見沼区堀崎町923-3
TEL & FAX 048-685-8883
E-mail : utsbnrk@yahoo.co.jp

③1947.8.30 ④160 ⑤11年 ⑥0W
⑦年数回のダイビングでの、いつでも初心者を超
して、本当のシニアダイバーをめざしたいと思ひ、入会
を考えさせていただきました。
⑧石垣島・マンタポイント、パプアニューギ
ニア・ビッグドロップ
⑨スイミング、映画鑑賞、インド料理(スパイス
料理と食べ歩き)
⑩ダイブ中、水着を着るのが恥ずかしかった自分がこ
こにいる事に不思議な感覚を持つとともに、ダイビングを
知った事、続けられる環境、家族の理解に感謝して
います。仲間に入れていただいて、世界を広げたい
とはりきっています。よろしくお願ひいたします。

①675 小栗 豊二(おぐり とよじ)
 ②〒933-0014 富山県高岡市野村869
 TEL 0766-23-2229 FAX 0766-22-8589
 E-mail : oguri-toyoji@hotmail.co.jp

③1949.9.5 ④500 ⑤18年

⑥日本体育協会公認スクーバ・ダイビング指導員

⑦色々なダイビングポイントに挑戦していきたいと思いました。

⑧沖縄・ケラマ

⑨そば打ち

⑩新潟県立海洋高校在職時に社会スポーツセンターの「スクーバ・ダイビングC級スポーツ指導員」の資格を得ましたが、家庭の事情により3年前に退職しました。今は自由な時間が持てるようになり、ブランクを埋めて趣味のダイビングを楽しみたいと思っています。どうかよろしくお願ひいたします。



①676 瀧本 和恵(たきもと かずえ)
 ②〒340-0056 埼玉県草加市新栄町298-3
 TEL & FAX 048-941-8119
 E-mail : kazucat22@Ybb.ne.jp

③1942.5.22 ④109

⑤6年 ⑥AOW

⑦シニアダイバーの会がある事を知りぜひ入会したいと思いました。同世代の方々と情報交換したり、潜らせていただきたいと思っています。

⑧沖縄・ケラマ諸島



⑨卓球、ガーデニング、プールで遊ぶ

⑩初めまして、瀧本と申します。タッキーといわれています。ダイビングを始めてから100本を越しましたが、初日はいつもどきどきしてめまいをおこしそうなへなちょこオバさんダイバーですが、海が好き、海中での浮遊感が特に好きです。

①677 小島 初枝(こじま はつえ)

②〒344-0115 埼玉県春日部市米島1198-101
 TEL 048-746-3830 FAX 048-746-4853

E-mail : koji-ha_chan@jp-t.ne.jp

③1942.2.10 ④96

⑤5年 ⑥0W

⑦石川勝氏の話聞いて、同じ趣味の友達をたくさんと思い。

⑧サイパン、宮古島

⑨ゴルフ

⑩スポーツクラブで石川氏

に出会い、いくつかのポイントに連れて行って頂き、その時に同クラブの方とご一緒になり、明るくて楽しい人だなと思い、私も加入したいと思いました。明るさは皆さんにはまけません。まだ怖いもの知らずで夢中で潜っている私です。これからも楽しいダイビングをして行きたいと思っています。よろしくお願ひします。



住所、アドレス変更

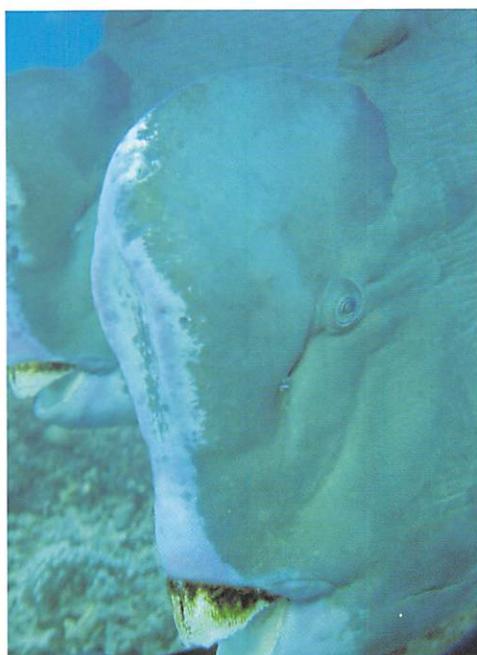
039	斉藤 靖子	新アドレス	yasa@ginga-net.ne.jp
074	藤井 泰代	新アドレス	yasuyo_0326@yahoo.co.jp
342	山口 知子	新アドレス	totomo29@softbank.ne.jp
356	栗本 はるみ	新住所	〒143-0023 大田区山王1丁目2-1 サンライズ大森山302号
		新TEL & FAX	03-5742-2836
390	金井 達雄	新アドレス	t.kanai@rouge.plala.or.jp
499	鈴木 暁美	新FAX番号	0293-23-6622
		新アドレス	bqbwm583@ybb.ne.jp
551	手島 惟人	新アドレス	krt_tejima@yahoo.co.jp
563	大脇 美都子	新アドレス	qbffb472@yahoo.co.jp
616	志賀 暎功	新TEL番号	03-3945-8464
620	斎藤 明文	新TEL番号	050-8884-3247
637	川住 規夫	新住所	〒194-0036 町田市木曾東4-12-イ-16-403

今号も傑作が寄せられました。



1. 「ハタタテの群れ」 240 山本 伸子
半端ではなかったハタタテの群れ。
カメラ:ニコノスV 20mm
撮影地:モルディブ BS II
撮影日:2008年1月

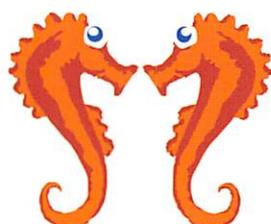
2. 「マンタのおなか」 205 江田 隆
一番後ろを泳いでる私にガイドが指をさす、振り向いたら頭上すれすれをマンタ、仰向けになって、パチリ。
カメラ:ニコン D50 10.5mm F2.8
撮影地:スマラン諸島
撮影日:2007年1月



3. 「俺、バッファロー」 206 江田 尚子
朝、ご出勤の軍団をアップで、「これって、魚の顔!!」
カメラ:キャノン IXY300
撮影地:シパダン
撮影日:2006年11月

4. 「危機一髪?」 578 中澤 八重子
マンタ3、40枚がパシャパシャ、上にジンベイが。撮ったあと吸い込まれそうになり慌てて逃げました。
カメラ:カシオ
撮影地:モルディブ
撮影日:2007年9月9日





SDCの紹介と入会のご案内

SDCはスキューバダイビングを共通の趣味とする任意の団体です。年齢は20～80歳代、地域は北海道から沖縄まで全国に広がっています。SDCでは新年会や懇親会等の集いや年約50回のダイビングツアー、雑誌の季刊発行を行うと共に、ダイビング以外の趣味の会、懇親サークル等様々な活動を通して会員相互の親睦に努めています。会員数も300名を超え、更なる会の充実を図って行きたいと思っております。

「安全潜水」、「個人責任」、「助け合い」など当クラブの行動原則を理解して行動して下さる方が入会可能です。入会希望の方は事務局までご連絡下さい。